

自治会アンケート集計結果

目次

I 調査の概要

- 1 調査の目的.....2
- 2 調査の概要.....2

II アンケート調査の結果（全体）

- 1 自治会運営について.....3
- 2 自治会活動について.....8
- 3 新型コロナウイルスへの対応について.....20

III アンケート調査の結果（世帯規模別）

- 世帯規模別グラフ.....23

1 調査の目的

市民協働推進委員会では、今後の地域コミュニティのあり方について議論を進めています。この調査は、各自治会の組織や活動内容、課題、コロナ禍における取組等の現状を把握し、今後の自治会の取り組みや東近江市の地域支援事業にいかしていくことを目的として実施しました。

2 調査の概要

(1) 調査の方法

① 調査対象
全自治会

② 調査方法
紙配布

③ 調査期間
令和2年10月12日（月）～令和2年10月26日（月）

(2) 回収結果

区 分	配布数（総自治会含む）	回収数（総自治会含む）	回 収 率
紙 配 布	403自治会	323自治会	80.1%

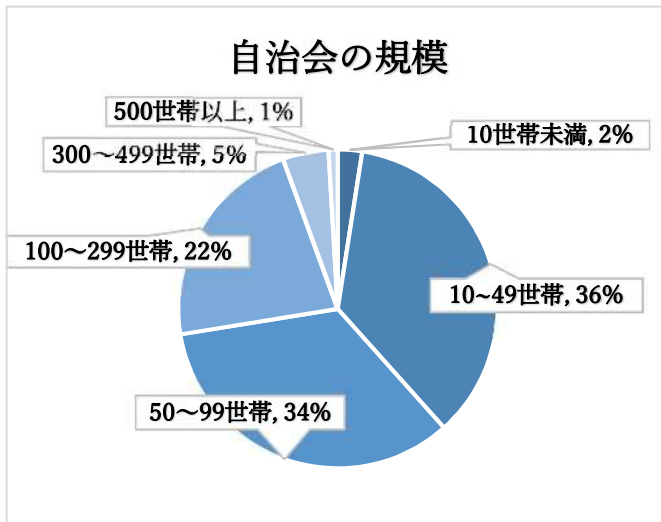
1 自治会運営について

Q1 自治会が所在する地区名を教えてください。

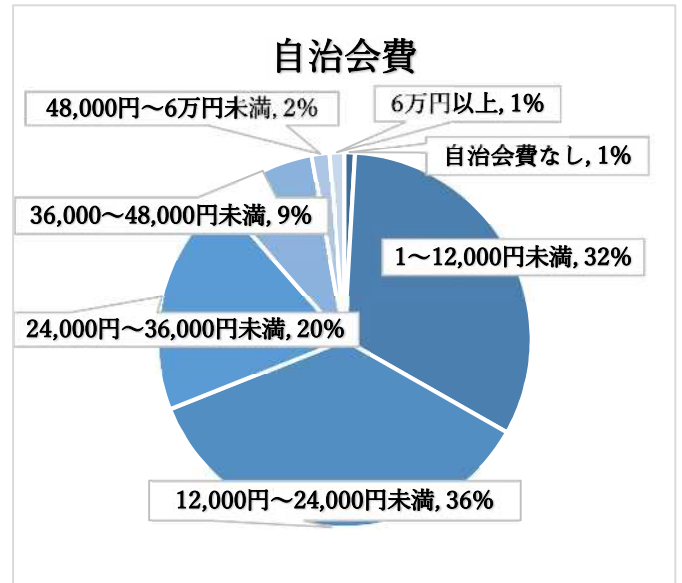
回答地区数

平田地区	10
市辺地区	11
玉緒地区	14
御園地区	19
建部地区	15
中野地区	22
八日市地区	42
南部地区	13
永源寺地区	29
五個荘地区	25
愛東地区	19
湖東地区	33
能登川地区	43
蒲生地区	28

Q2 自治会の規模について教えてください。

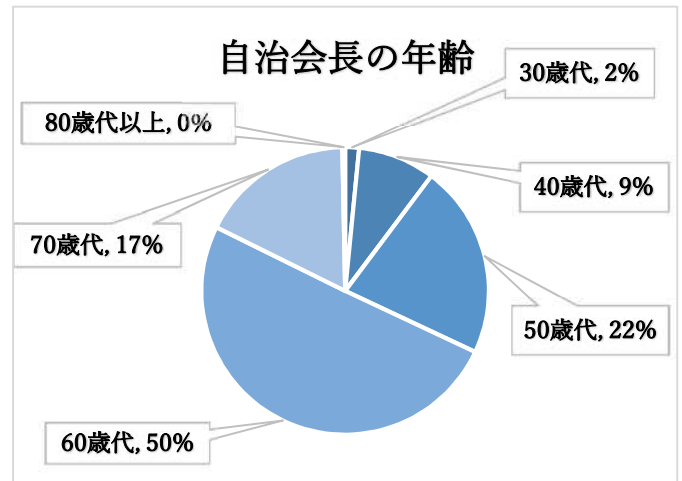


Q3 自治会費（年間）について教えてください。

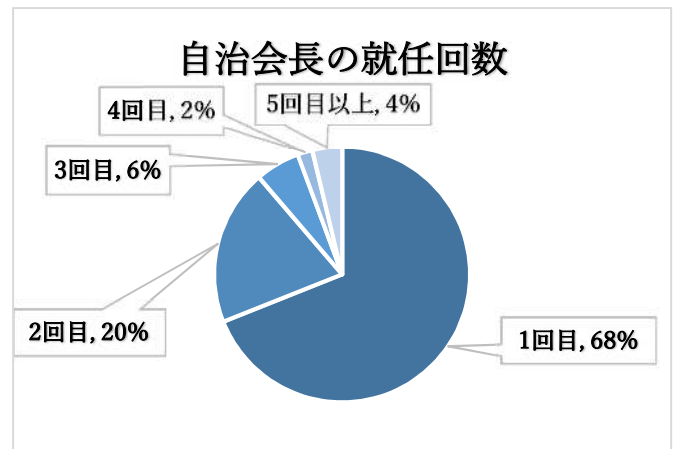


Q4 自治会長について教えてください。

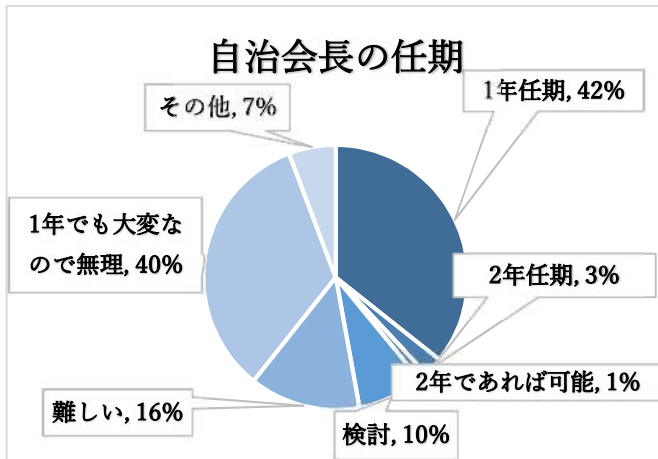
■自治会長の年齢について教えてください。



■自治会長に就任されたのは何回目ですか。



■現在の自治会長の任期と、2、3年等の複数年の設定についてどのようにお考えですか。



■その他の主な内容

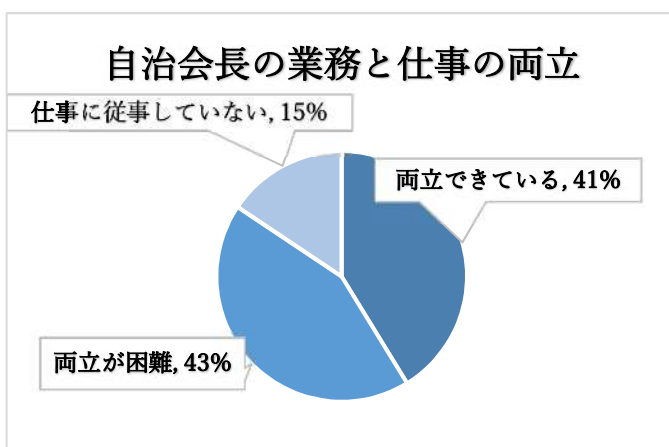
自治会長の任期は1年が大半

- 副会長が次期の会長になる。
- 規約で任期1年と決めている。
- 再選は、3回までとしている。
- 現在2年で、次年度から1年に変更予定。

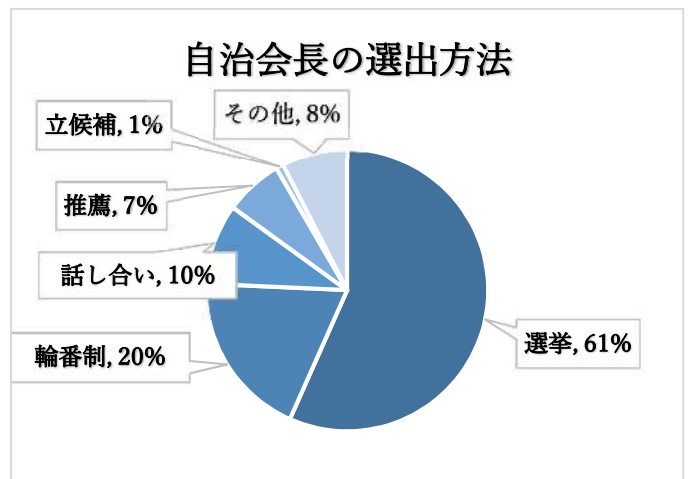
長期課題への取組は2年以上必要

- 時間にゆとりがあれば2年は必要。
- 2~3年が良いと思うが、実際は1年でも大変。大きな事業・課題解決をしようとすると複数年が良い。

■自治会長の業務と仕事（本業）との両立について教えてください。



■自治会長はどのように選出していますか。



■前問で「選挙」を選択された方にお尋ねします。選挙の方法と対象となる会員について教えてください。

1世帯1票か1人1票が大半

〈1世帯1票〉

- 全世帯から、1票投票。評議員経験者から選出。
- 20歳以上の会員から、各組より候補者一名を選出してもらい、各戸の代表者による投票で決定する。

〈1人1票〉

- 20歳以上の会員1人につき1票の投票権。20歳以上70歳までの会員から選出。
- 60歳以上の住民の中から選出。
- 自治会協議費の納付につき1票の投票権。

一部では輪番・抽選等の導入もある

〈順番等〉

- 各組から輪番で選ばれた人の中で選挙。
- 組ごとの輪番制で合同会議を開催して候補者を選び、選挙にて選出する。

〈一部について選挙〉

- 班ごとに順番に役員候補を出してもらって選挙で選ぶ。会長、副会長、会計等を選ぶ。
- 年齢順で上から順番に3名選出して選挙を行う。

〈その他〉

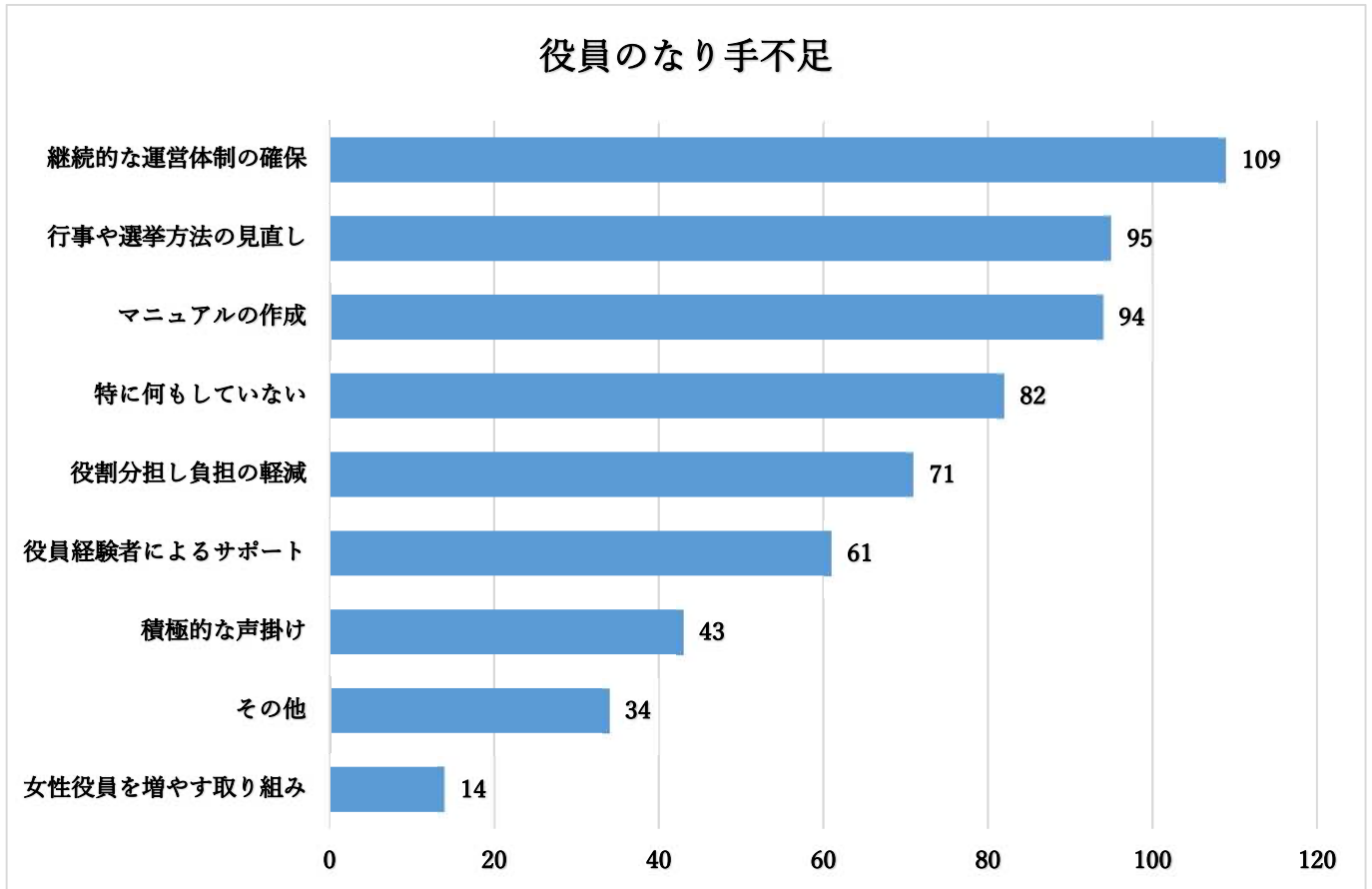
- 集落から出ている人も参加するところもある。

Q5 自治会長を含む自治会役員（各種団体含む）の人数と役職数について教えてください。

平均役員数「23」

平均役職数「16」

Q6 役員のなり手を増やすために、どのような取り組みを行っていますか。（複数選択可）



■ 「女性役員を増やす取り組みを行っている」の主な内容

女性役員の定員を設定

- 評議員に女性を2名以上選出する。
- 選挙で女性を最低2名選出する。
- 評議員の選挙で女性を最低1選出する。
- 女性に必ず三役に入ってもらっている。

負担軽減と女性目線からの見直し

- 会合の8割は女性が参加される。私自身がする事により、女性にでもできる役員（女性の自治会長は初めて）にすべきだと考える。
- 兼務役員を多くしている。
- 女性目線からの業務の見直しを進めている。

〈順番・年齢順等〉

- 自治会長以外は選挙だが年齢順で暗黙の了解のもと決まる。
- 年齢の順にしている地域団体がある。
- 組内での順番制

〈選出〉

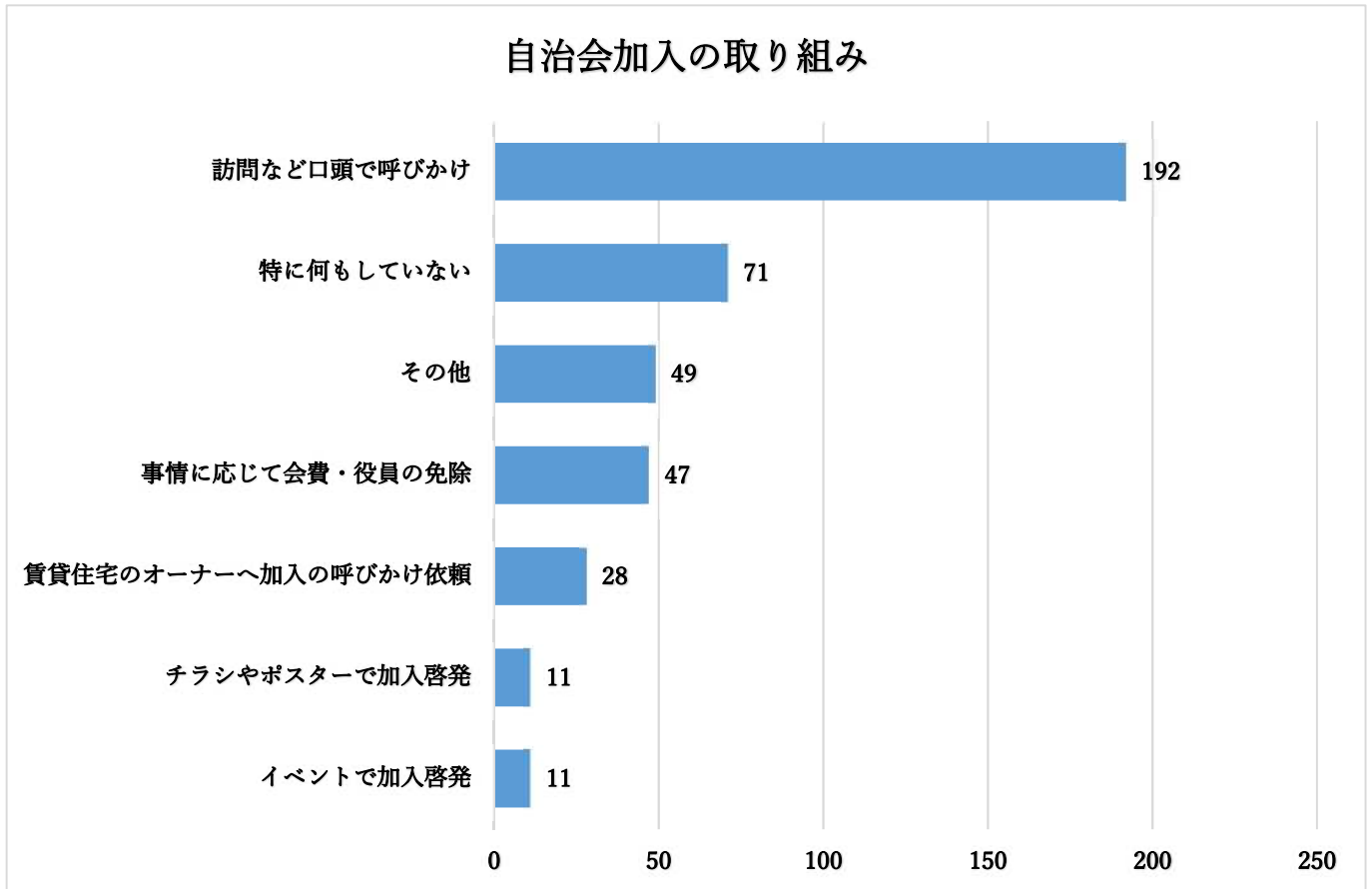
- 事務局長を選任して、自治会長の業務のフォローをして軽減している。
- 自治会長、副自治会長以外は毎年班長から選出。
- 各組から選出してもらっている。

〈困りごと〉

人口減少・高齢化による担い手不足への問題意識が高い

- 役員のなり手が少なく、役職数が多過ぎる。
- 高齢化により、役員を担える人が少なくなった。
- 役員改選に向け、選出方法について協議すべしとの声がある。
- 住民が少なく、自治会長以外の市及び他の団体等の役員を縮小又は廃止してほしい。

Q7 自治会未加入者（新たに引っ越してきた方を含む）への加入の推進として、どのような取り組みを行っていますか。（複数選択可）



■その他の主な内容

ゴミ出しルールや会費の説明とともに勧誘

〈勧誘等〉

- 自治会長が案内と説明をする。
- 不動産会社を通じて入会してもらうようお願いしている。
- チラシを配布する。
- 新規転入者等へ口頭で加入を呼びかけ。
- あいさつに来られた時にゴミ出しルール、年会費や年間行事等を説明する。

〈困りごと〉

- 世帯数の減少。
- 新たな加入者がいない。

〈その他〉

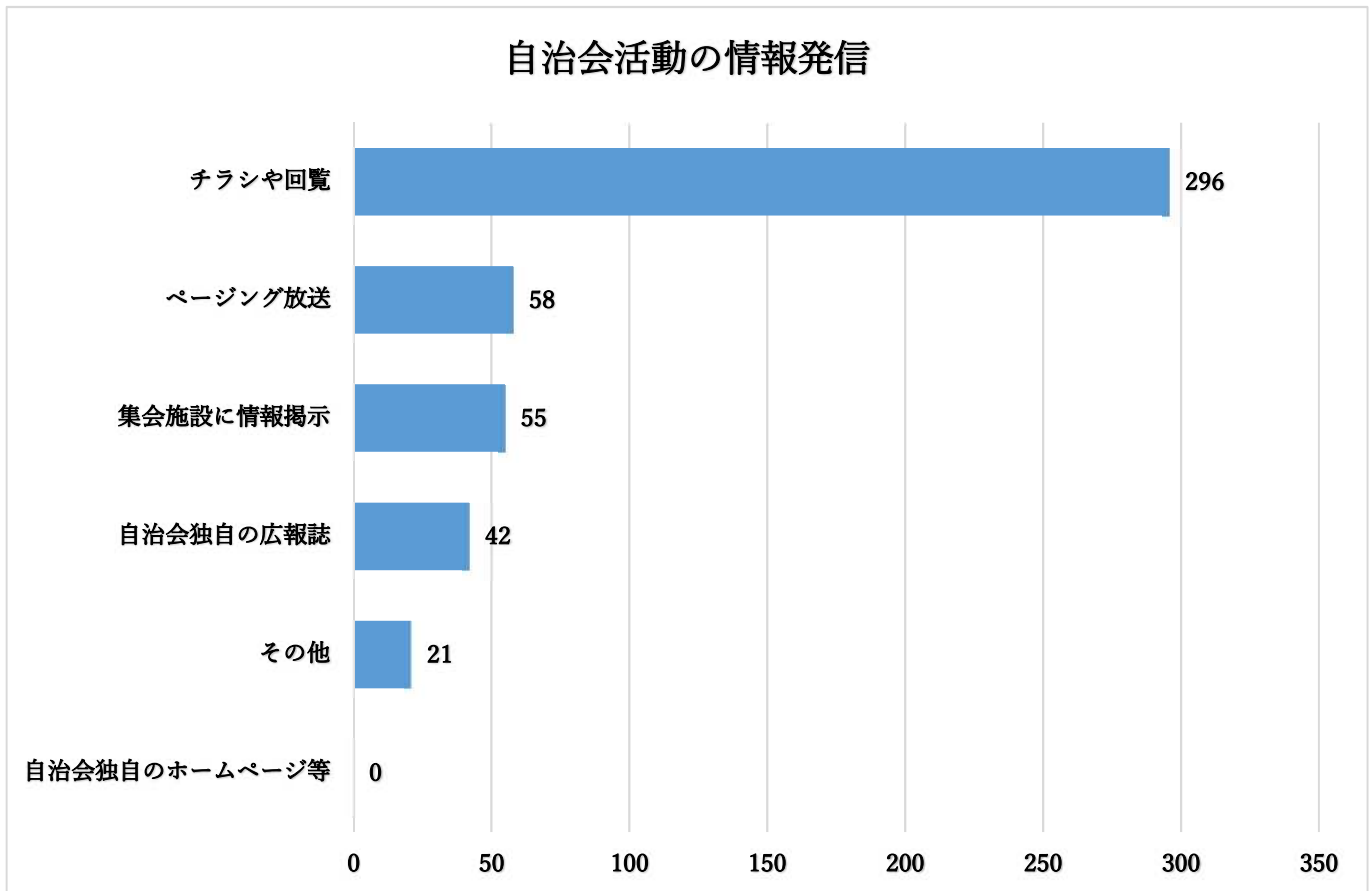
管理会社と連携、会費・役の免除で新会員へ配慮

- 新規加入者は3年間自治会費の減免がある。
- 新規で建設される賃貸、分譲住宅については、管理会社と事前に交渉して自治会費を収めてもらう。

2 自治会活動について

Q1 自治会活動の取り組みについて

■自治会の活動情報をどのように会員みなさんに伝えていますか。（複数選択可）

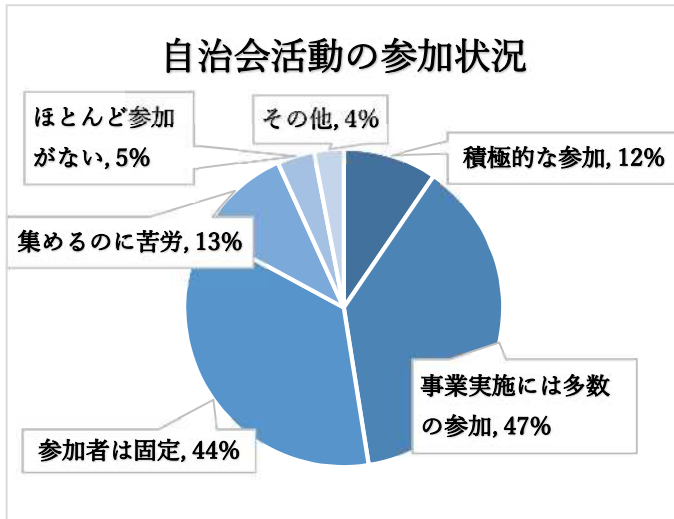


■その他の主な内容

インターネットの活用を模索

- 自治会での行事や催しの際に情報提供。
- 総会の資料を全戸配布。
- 総会や役員会で伝達。
- FAX、メール、メッセージを活用している。

■自治会活動全般をみて、会員の参加状況を教えてください。

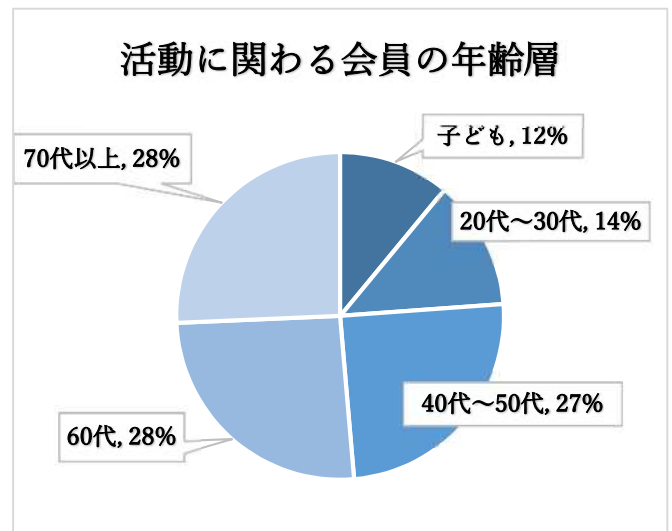


■その他の主な内容

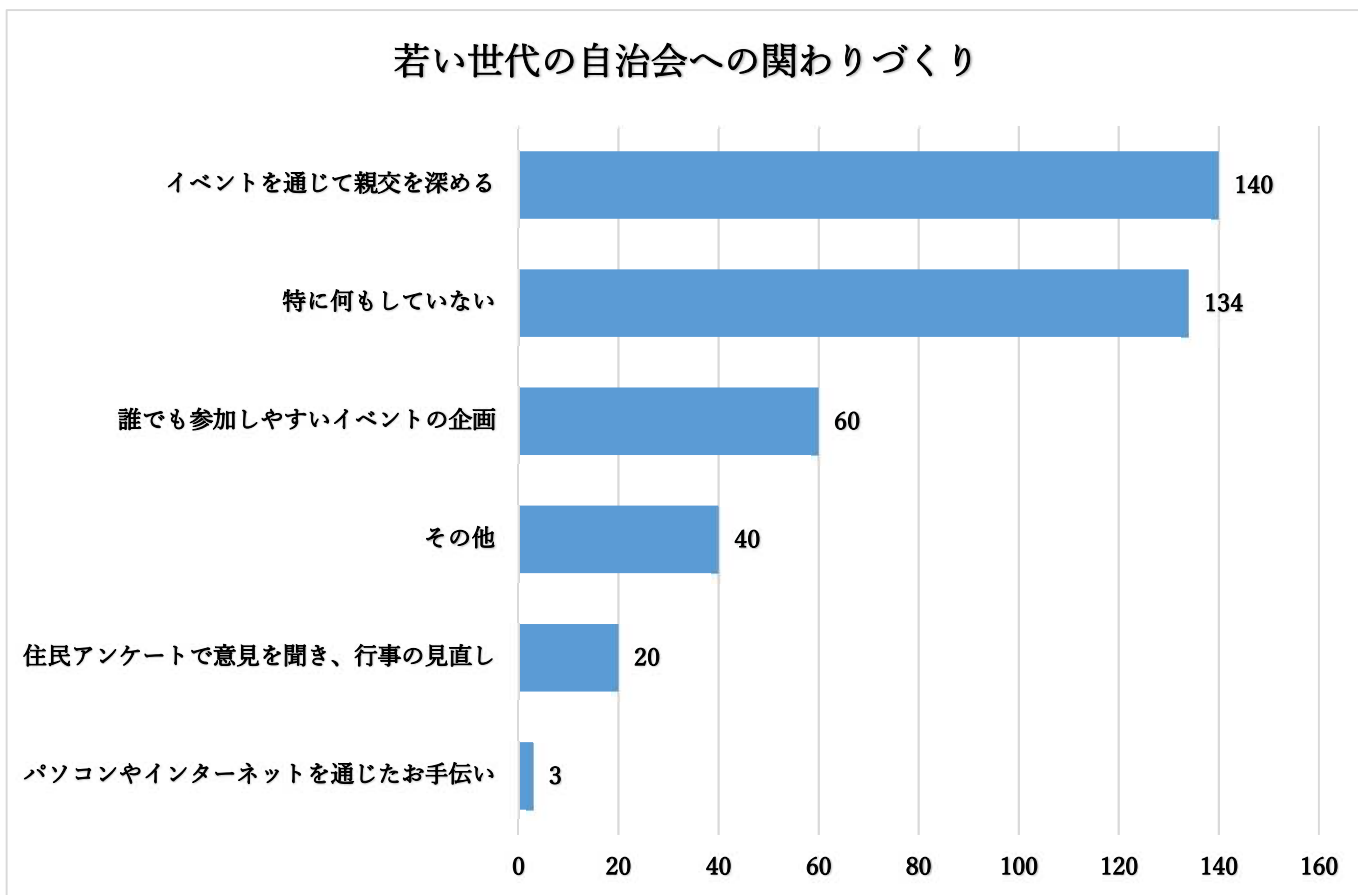
活動への理解・共感が課題

- 強制参加ないものへは、参加が少ない。
- コロナ禍のため、積極的に参加を呼びかけられない。
- 飲食をともなう事業は参加が多い。少子高齢化のためか、スポーツ関係は少ない（GGは除く）。
- 50歳～60歳の女性の参加、協力が少ない。
- 高齢化が急に進んで、参加は徐々に減っている。
- 役員のみが参加という場合がある。
- 美化運動等、全戸を対象とする作業には参加が多い。

■自治会活動全般をみて、活動に関わる会員の年齢層について各年代のおよその割合を教えてください。



■若い世代が自治会活動に関わるきっかけづくりについて教えてください。（複数選択可）



■その他

若い世代が自治会活動に関わるきっかけづくりに苦慮

〈声かけ〉

- 住民の責任として清掃活動などは、全戸参加を呼びかけている。
- 子ども対象のコミセン行事は、子どものいるお母さんに直接声をかけている。
- 恒例の夏祭り・自主防災訓練・敬老会等は呼びかけに行っている。

対象世代を明確にしたイベント・催しを交流のきっかけに

〈イベントや助成制度〉

- 20代、30代中心の組織と積極的に連携している。
- 休日（特に日曜日）にするようにし、関心を高め、参加しやすくしないといけない。
- 子ども会が中心となり古紙回収等を行っている。
- イベントに楽しめる内容を盛り込む（夕涼み会・夏祭り・グランドゴルフ大会・カラオケ大会など）。
- 子供中心のミニ運動会・子供中心の夏まつり・祭りの子供みこし（※今年はずべて中止）
- 懇親会への助成金制度がある。
- 自治会予算から補助金を出している。

〈困りごと〉

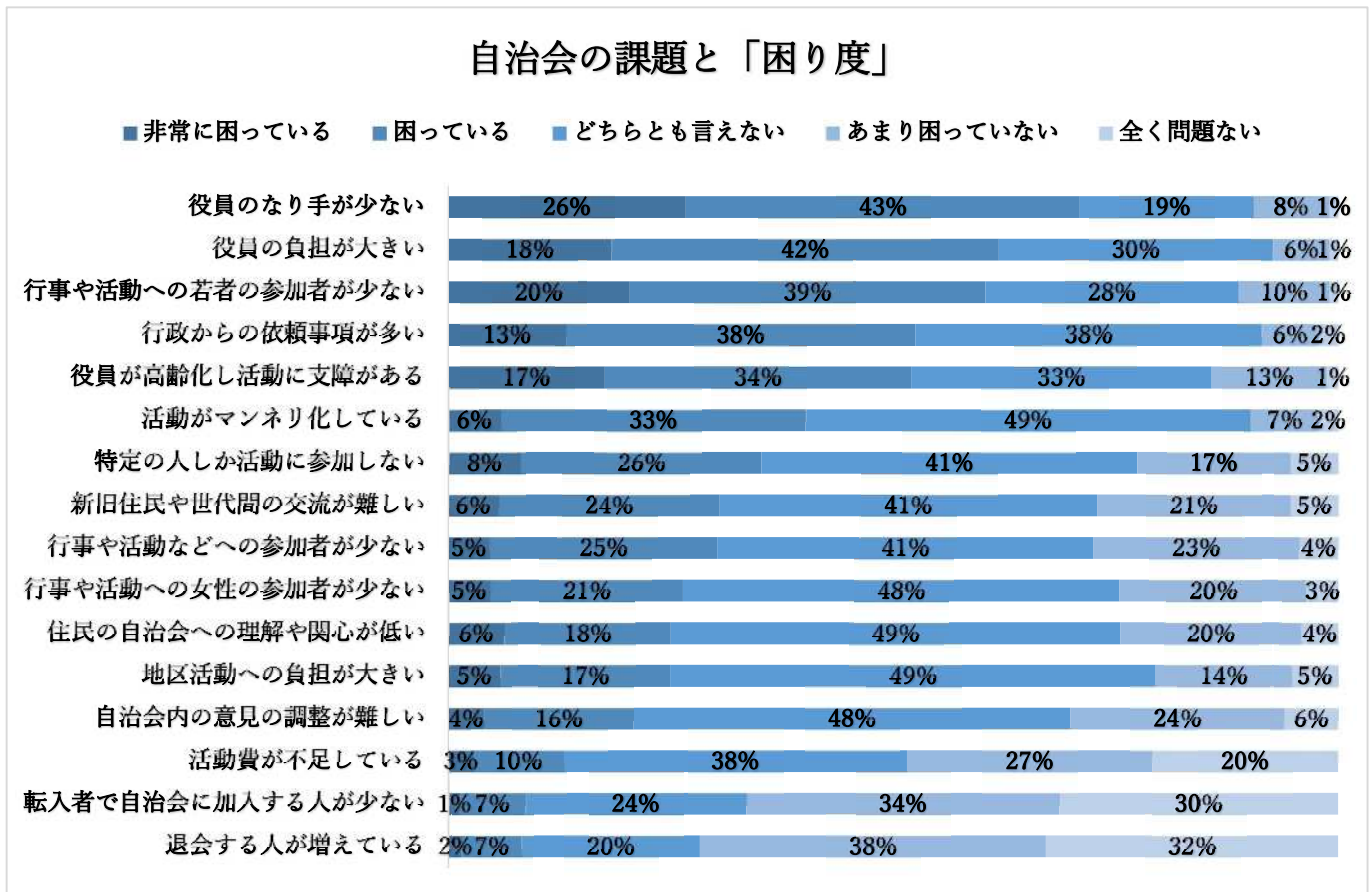
- 夏まつり以外は、50代以上の参加者がほとんど。

必要性や交流する楽しさへの共感をどう広げていくか

〈その他〉

- コロナを機に、役員の仕事が軽減できれば役員のなり手も出てくると思う。
- 本年度は屋外の若い世代が関わる活動は、溝掃除、簡易な地蔵盆のみなので、活動は少ない。
- すでに年間行事が多く、減らそうと考えている。
- 住民からの意見や提案を反映している。
- 子供を通しての付き合い、独居の方への気配り、心配災害の時は助けあう、といった自治会の必要性を訴えていく事が大切と思う。レクリエーション等よりも本当に必要なことは何かを考えたい。

Q2 自治会活動を行っていくうえで、課題となっていることや今後予想される事柄について、それぞれの「困り度」についてお答えください。（1つの項目につき、1つ〇をしてください。）



長期的に取り組む課題の増加

その他

〈非常に困っている〉

- 寄付等の出費が多い。
- 獣害防護柵の管理が大変である。
- 会長の選出と依頼に苦労している。
- 自分の事でせいいっぱいのアパート住民が多い。
- 住民の少子化、高齢化進んでいる。
- 消防団員や民生委員のなり手が少ない。

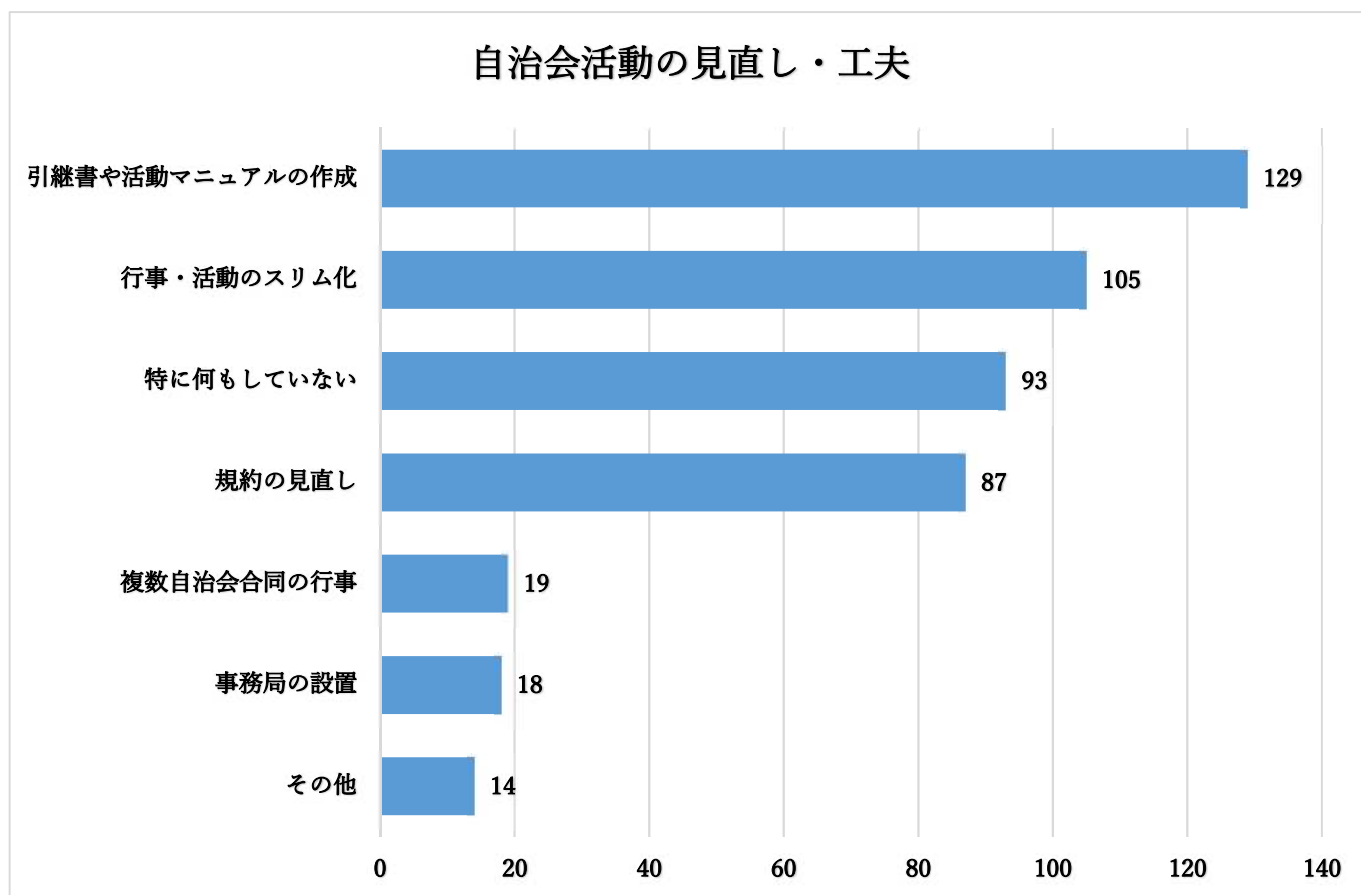
〈困っている〉

- 回覧、チラシ等月に数回あり、負担に感じている。
- 日曜日ごとに行事がある。

〈その他〉

- 今後10～20年で空家が増える見通し。
- 市や地区、自治会の活動が重なる。

■自治会活動の見直し・工夫について教えてください。（複数選択可）



マニュアルによる負担軽減と組織・活動の見直しへの意識は高い

その他

〈役員・役割の見直し〉

- 役割分担を明確にしていく。
- 選挙権等の見直しがあったが、若者への負担が多く、仕事との両立が困難。

自治会の持続・継続のための組織のスリム化を求める声が多い

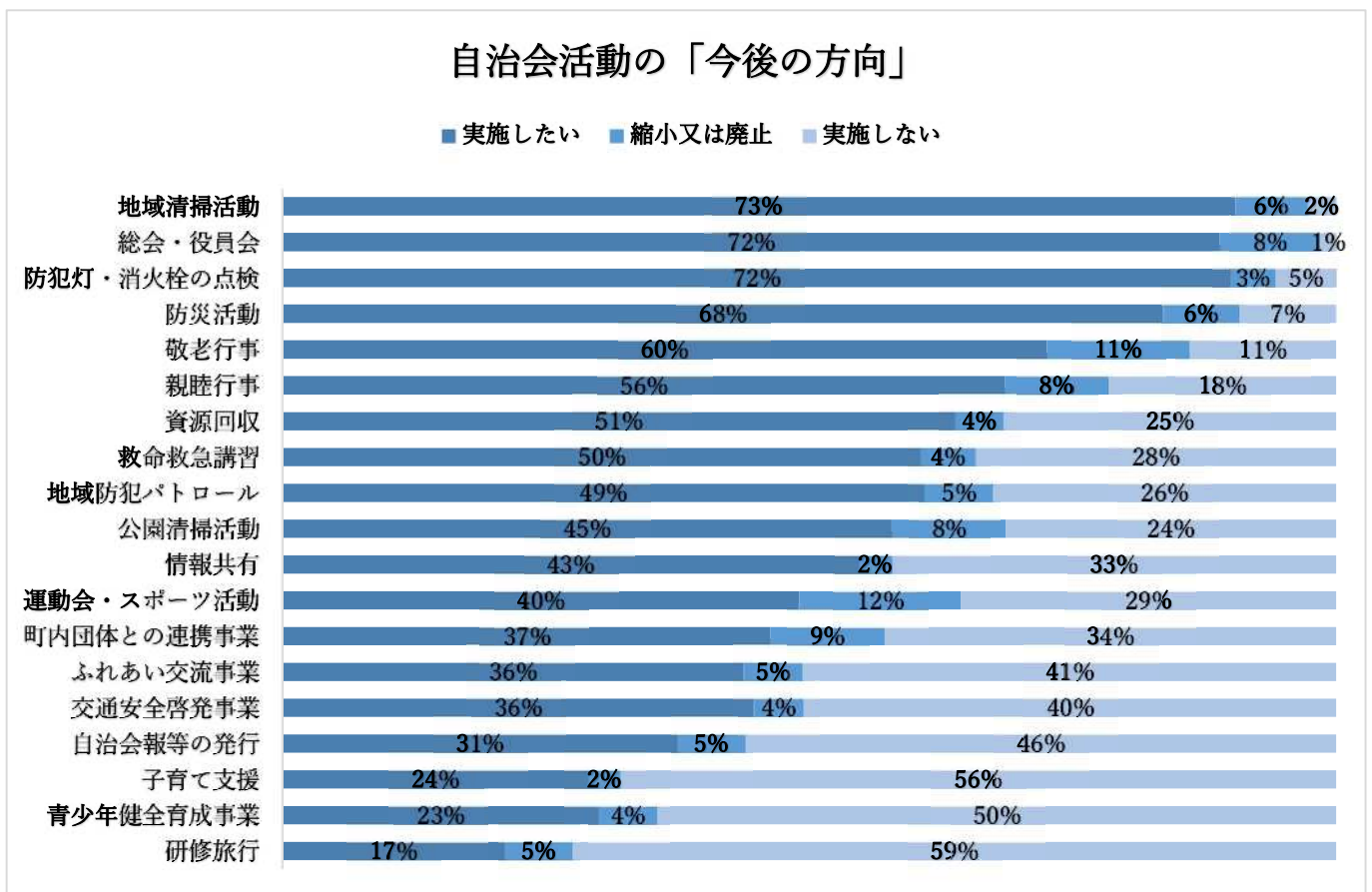
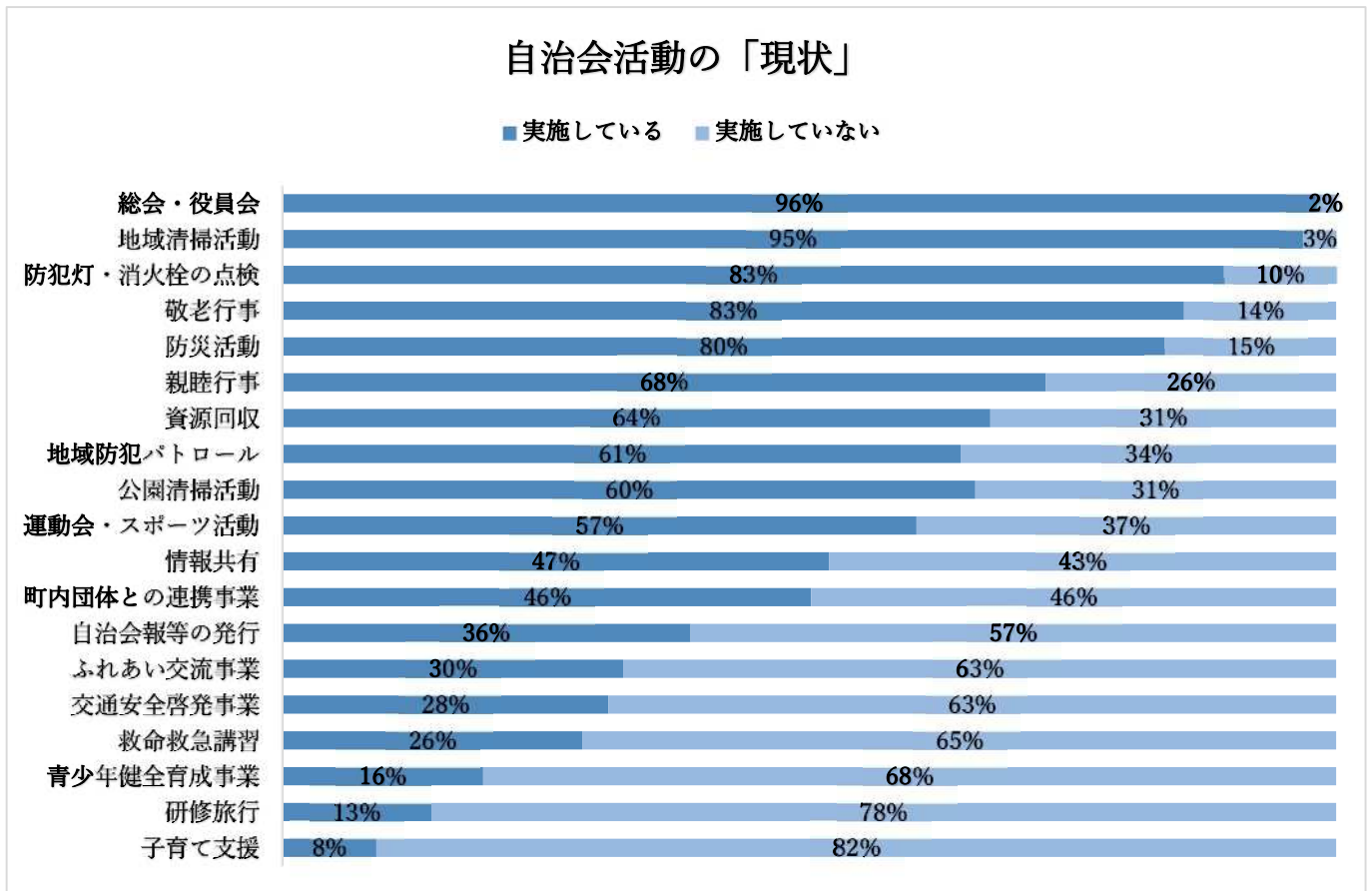
〈行事・活動の見直し〉

- これまでの行事・活動を見直すため、自治会内で話し合い、行事のスリム化を図りたい。
- 継承が不可になった時点で見直しを行いたい。
- 役員で月一回会議を行って、今後のあり方を検討している。

〈話し合い・情報共有〉

- 見直し、工夫を考えても住民の理解が得られない。年齢層のバランスが悪く、少子高齢化、人口減少などが小さな自治会では深刻。
- 奉仕作業、夏まつり等を通して（年4回程）、活動・情報を共有している。
- マニュアルなどで、資料を整理して残すようにしている。

Q3 自治会の行事・活動について、それぞれの「現状」と「今後の方向」についてお答えください。



■自治会の行事・活動で取り組まれているその他の主な内容

美化活動等は積極的に行われており、参加者も多い。

清潔な環境づくり事業

- 河川愛護グラウンド清掃等
- 神社清掃
- 花いっぱい事業
- 溝清掃、草刈を行う。
- 奉仕活動をしている。

福祉育成事業

- 高齢者サロン

安全な地域づくり事業

- 空家調査
- 防犯カメラの設置
- 台風時等の増水の見回り、被害見回り
- 子ども防災研修会、防災名簿の作成

地域交流事業

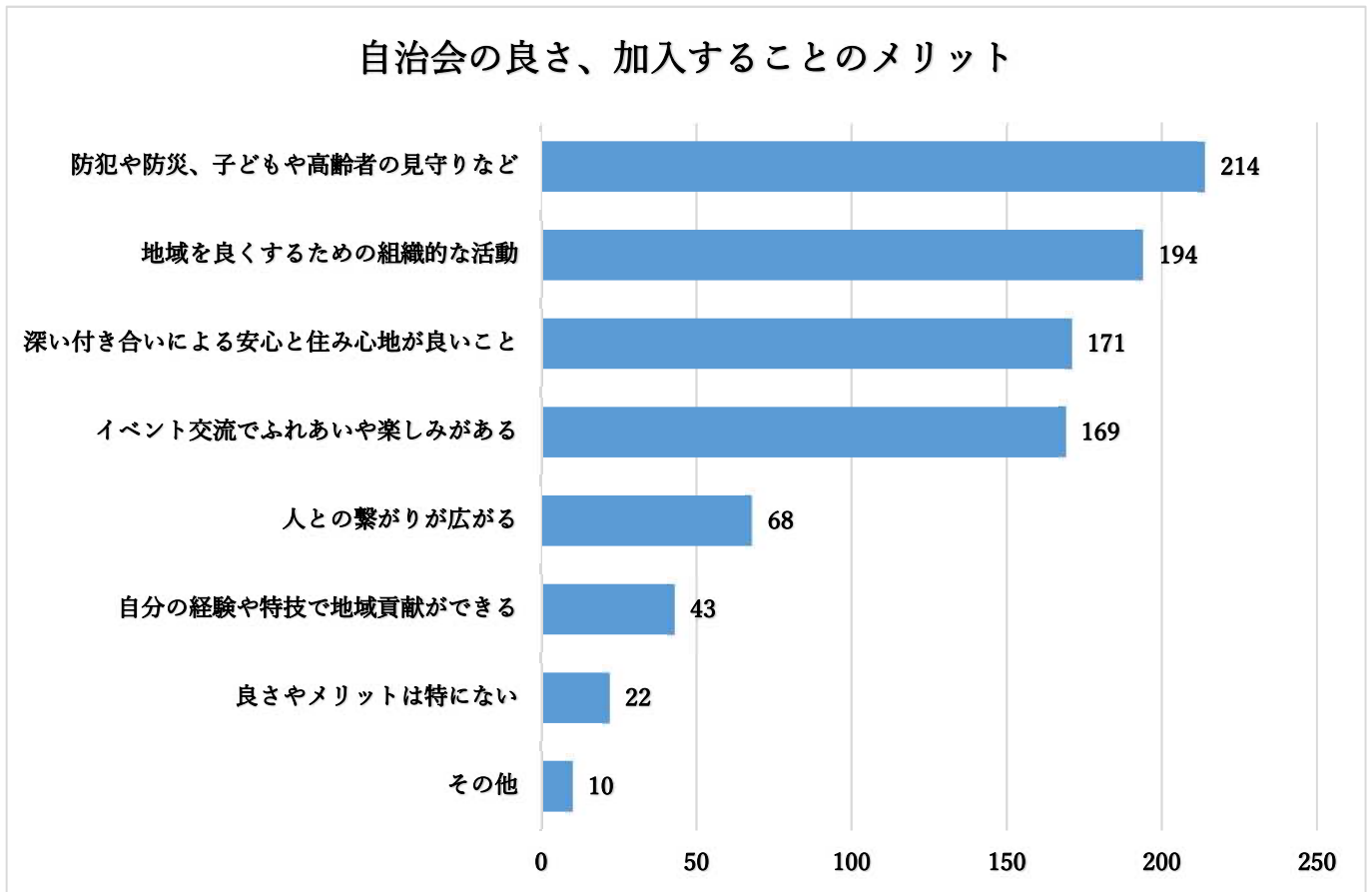
- 地区連合会の事業への参加
- 神社行事参例

地域自治活動

- 組で独自の自治活動を行う。
- アパートなどへは、案内チラシを戸別配布している。

Q4 自治会の必要性について

■自治会の良さ、加入することのメリットは何だと思えますか。
(複数選択可)

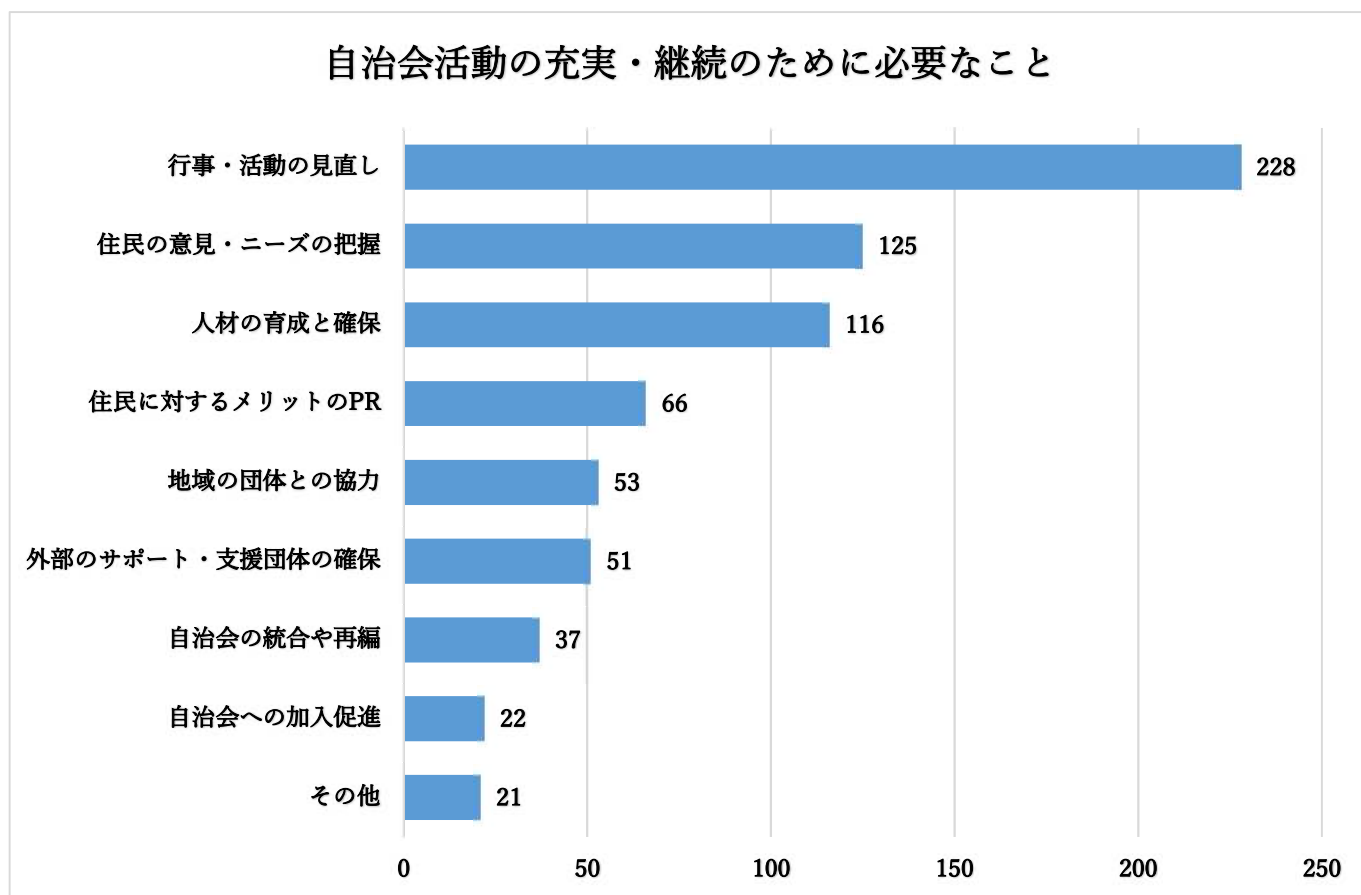


■メリットのその他の主な内容

住環境の保全と災害時の共助への共感が浸透

- 自然や伝統を守っていくために必要。
- 自治会が無いと道路や川などの維持メンテナンスができず、環境が悪化する。
- 大多数が共感して、参加、協力してくれれば自治会はメリット大きい。
- 自治会員の協力（任意）で防災名簿を作成し災害時の共助が可能になる。

■自治会の運営や活動を充実・継続させるためには、どのようなことが必要だと思いますか。



住民の意見・ニーズを捉えた活動見直しへの意識が高い

その他の主な内容

〈支援と負担軽減〉

- 活動経費の補助。
- 高齢化でも町内会内部の活動は継続させたい。そのためには連合会参加の負担軽減が必要。連合会の活動のあり方が問われる。
- 多くの自治会が仕事をしている人が役員であり、しかも1年毎に交代、これでは自治会活動が出来にくい。
- 役員の定年制。
- 市からの依頼事項の減少。

〈PR活動・情報共有〉

- ITを利用した情報の共有と意見集約。
- この自治会に入って良かったと思われる様な活動を行い、PRする必要がある。

〈加入促進・世代交代〉

- 高齢者が多く、若い世代が少ない。
- 未加入者への強力な推進策。

■自治会の好きなおとこ、ここで住んでいてよかったと思う部分はどんなところですか。（自由記述）

交流から生まれるつながりが地域愛を生んでいる

〈活動へのやりがい〉

- 様々な経験とスキルをお持ちの会員と一緒に活動することは、楽しい事と感じる。地域の方との触れ合いが最も良く、災害時にも助け合える環境と思う。
- 役員の皆様が協力的で、非常に助かっている。
- 地域コミュニティの継続のため、尽力してくれる人がいること。
- まだ自治会活動に元気がある。自治会がいままで以上に動いている。

〈地域のふれあい〉

- 少人数ではあるが、住もうとしている人が多く、この地域が好き。
- 生まれ住んだ地域、流れに沿った生活を維持していきたい。子供のころからずっと人との繋がりを保っていきける。支えあうことが自然とできている。
- お祭りなどの行事は多くの参加者がいる地区だが、役員のなり手は少ない。しかし、お互いに気楽に暮らせる、良い町だと思っている。行事への参加は自由のため、お互いに強制はしない。
- 年代に関わりなく横の繋がりができる。世代を超えた繋がりがあり、団結力がある。
- 近所の方との関係が良く何かあった時に気軽に相談できる。普段顔を見ない人でも活動で顔を見ることができ。話もできる。
- 人とのふれあいや絆があることで安心感が生まれる。高齢者（特に独居）を地域で見守れる。
- 夏祭りが開催され、地元住民の交流と楽しみがあるところ。町内会とは別で組内で年に1度の食事会があり、みんな仲が良い。大きな自治会よりも、本当に身近なご近所とのふれあい、助け合える組活動が、いざという時の頼みの綱になるのではないかと思う。
- 生まれ育った自然豊かな農村地区にて住民のつながりも深く、環境保全活動等にも積極的に参加してくれる。
- 古き伝統と現在（新しい取り組み）の行事等を取り入れられており、コミュニティが図れている。
- 地縁・人縁の集約型であり、お互い助け合う組織としては重要。ただ今まで通りという訳にはいかず、時代にあわせて見直しが必要。

美化活動等の共同作業が交流のきっかけになっている

〈共益・環境〉

- 共有エリアの清掃など、協力して、地域の美化、環境整備ができる。沢山の人が出役してくれて、清掃の傍ら話に花が咲く事も良いと思う。
- 自分たち家族の住む町が安全・安心な町であること。これは行政だけに頼るもので無く、住民たち自らが、創っていくものだと考えている。そのための人的交流・活動が、自治会立ち上げ以来活発に行われてきたこと、近年退町者が増え非会員が増加しているが、いかに必要性を理解いただくか、子どもたちが将来「ふるさと」と思える町ができるか、苦慮している。
- 歴史ある町で誇りに思っている。又、後世に伝承していく責任があると思っている。
- 行事毎に町民の参加率が高く、協力し助け合う事で町民同志の意識が高い。
- 総会では、高齢者へのいたわりや子どもさんの成長を温かく見守ろうとする自治会運営に会員が協力し合う意見が多く出ること。
- 広い広場があり、親子でキャッチボールとかサッカー、グランドゴルフ、花壇づくり、それぞれ自由に使える。
- ほど良い田舎、住み易い環境がある。人情が豊かである旧来の集落。自治会と新興団地が協力し合って自

治会活動を行っている。

- 子育て世代が多く、休日は公園で遊ぶ姿が見られ、のびのびイキイキしているように感じる。
- 防災意識の高さ。

ふれあい・支え合い・助け合いの環境整備が自治会の役目という共感が浸透

自治会を介した住民間の交流が生活の安心になっている

〈転入者・困り事がある人への対応〉

- 自分のように転入して来た者に対して親身になって考えてもらえた。会社、家族の協力なくしては、何にもできない。そのためにも役員の皆さんに多大な協力、支援、指導をいただいている。毎日が感謝。
- 遠くの親せきより近くの他人。
- 新しい住宅街なので自治会活動を通じて、知り合いが増えること。
- 大阪から転居された同年配の方が、早々に自治会になじんで役員を受け活躍されている。若い方や年配の方々とも気安くつき合いができるのも自治会あっての事だと思っている。

〈課題について〉

- 独自の行事等は少ない分、役員の負担は多くないが、新しく入会してきた方との交流の場がない。

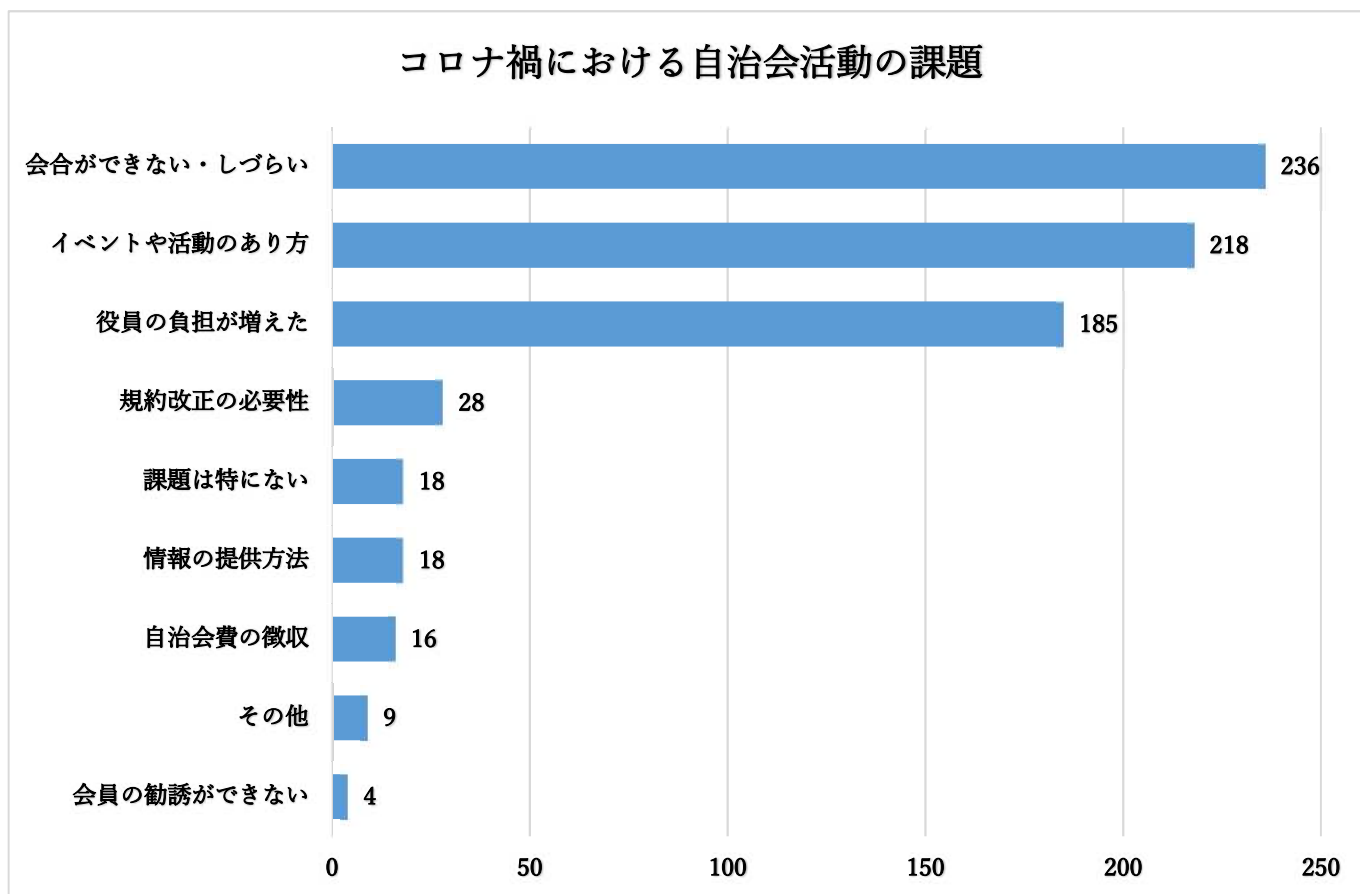
〈その他〉

- 町内の一人一人の意見、状況をふまえて、個々を尊重しながら活動（交流）できて良かった。
- いわゆる放任主義な所があり、自由で基本、干渉しない寛容的な所がいいと思う。馴れ合い状態で物事が進んでしまう事だけは避けたい。
- 規模が大きい分、住民間の関係が濃くない為、安らかに暮らせることがメリット。
- 田舎の良さ、悪さ、都会の良さ、悪さ両方が有り、よい方にとれば住みやすい所だと思う。

3 新型コロナウイルスへの対応について

Q1 新型コロナウイルスへの対応について

■新型コロナウイルスの影響によって、自治会運営において見えた運営上の課題等があれば教えてください。



交流事業が自治会活動の中心

決定・判断し、これまでの活動を変える難しさを感じている

その他

- 新しい生活様式を取り入れたいが、古い形式にとらわれて変化をいやがる人が多い。
- イベントが中止になり、町内の設備改善ができない。
- 行事については、月例役員会で決めている。
- コロナで自治会が何もしていない、楽をしていると思われること。実際には業務が減っていない。
- 判断を要する事柄が増え、説明と情報の告知が大変である。
- コロナ禍による外出規制など閉塞感のある中で、事業を中止することなく何とか進めて行く事の難しさ。
- 寄付で運営している。

■新型コロナウイルスの影響を受ける中、これからの自治会運営において考えておられることや必要になると思われることがあれば教えてください。

(自由記述)

これまでの活動の見直しと新たな取組みへの意識が高い

〈自治会役員の負担軽減・活動の見直し〉

- コロナ終息後、自治会活動は元に戻すのではなく、新しい形の活動を目ざすべきである。今のままでは、自治会自体が崩壊する(持続可能な活動を目指すべき)。
- 役員の負担を減らしたい。
- 慣例からの脱却。寄合の時の食事や酒席の準備の廃止。総会の時間短縮。
- コロナウイルスの状況を踏まえ、規約の変更が必要。
- 個人情報の取り扱いが難しく、どこまで話の中でたずねていいかも迷う。なかなか親しくなれない。
- 今回のコロナウイルスの影響によって、自治会に必要不必要が明確になると思う。変化していくいい機会になると思う。また自治会員に積極的、消極的な意見を聞くいい機会でもある。
- 今後更に高齢化が進む中、自治会を維持する為には自治会のスリム化が必要と思われる。必要な行事のみを残し、思い切ったスリム化が必要。
- 大規模な自治会活動は、増々難しくなっていくため、これからの時代は、小さな範囲での自治組織体、昔でいう「となり組」的な活動を充実発展させていく必要があるのではないか。
- 自治会の中からコロナ感染者が出た場合の対応をどうしていくか決めておく必要がある。
- 地域の情報提供などが紙面による回覧である為、感染の恐れがあり、メールやSNS等を利用したい。
- 親睦を図る機会が制限される中で、小規模なイベントのあり方を模索する必要がある。
- 日常生活でのお互いの意思疎通や交流が重要であり、そのための活動を検討中。
- 自宅待機や収入減のため、自治会費の増額が困難。
- 子どもや老人の安否確認や安心して子供を預け仕事ができる取組みが必要と感じます。
- 自治会費の運用について、考慮する必要がある。このようなときにこそ蓄積された自治会費を有効活用する検討をしたい。

コロナ禍での交流機能再スタートの方法が見えない

〈自治会活動の維持〉

- 町民とのコミュニケーションを図るため、自治会内でいつも「声かけ」をする。
- リスクばかり見ず、人との繋がりを大事にする。
- コロナ禍でもできる事を考えている。(例)ライン会議、予算の見直し、事業の見直しetc.
- 新型コロナが今後も続くので、各種行事の内容、ノウハウの継承が出来なくなる事が心配。
- 活動の歩みを止めることは簡単だが、活動を再開することは非常に難しくなる。今こそ、自治会の力が試されていると思う。

〈安心・安全〉

- 過剰な自粛の押し付けや、感染者に対する人権侵害が起きないように自治会内での共通理解を得ることが必要と考える。
- 防災情報告知放送システムの全戸加入
- 自主防災組織作り

コロナ禍の取組みの参考事例等の情報がほしい

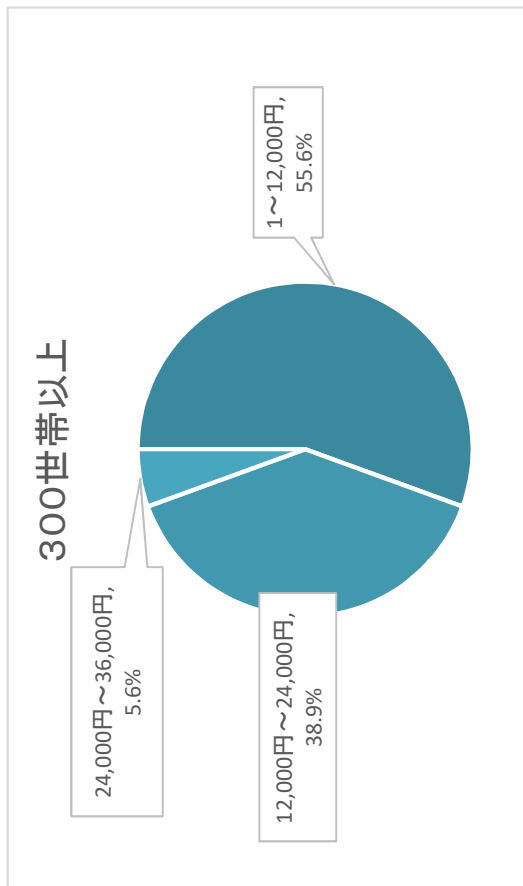
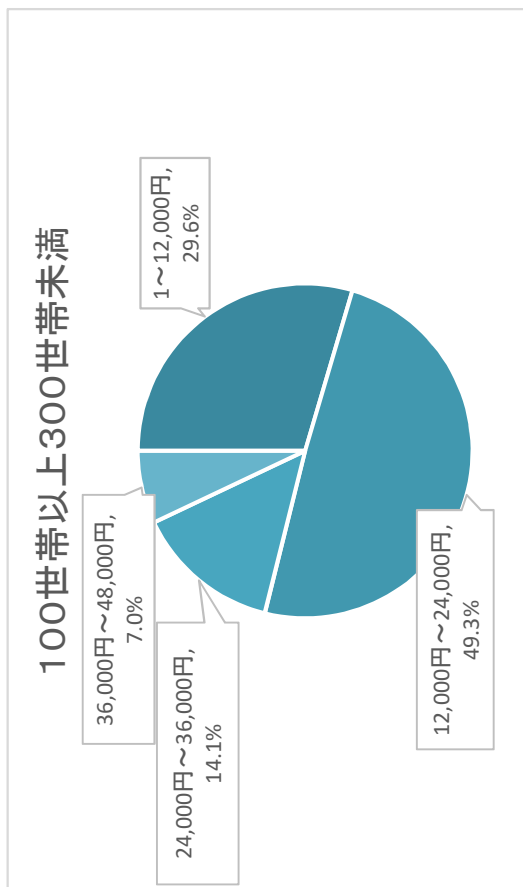
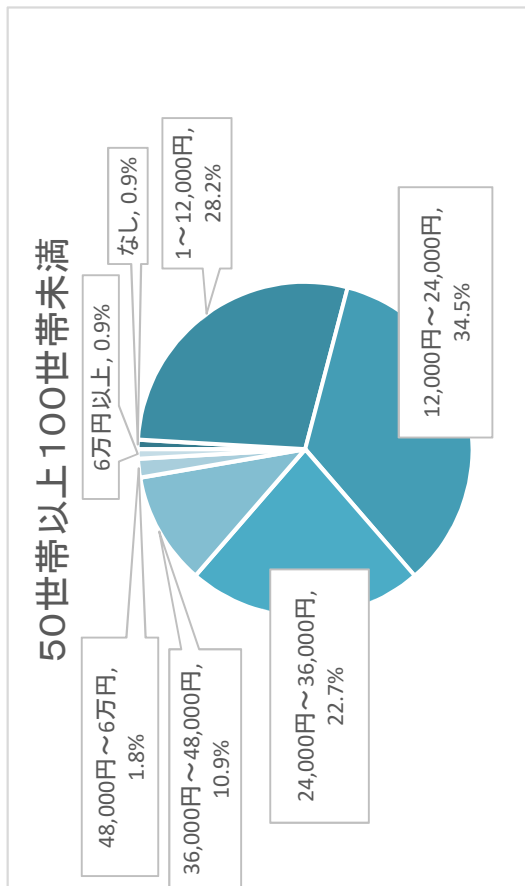
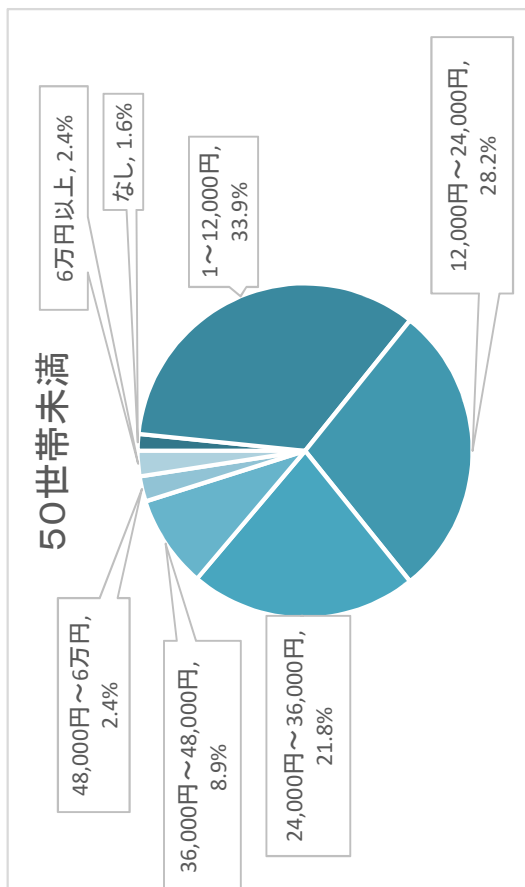
〈支援・情報提供〉

- 安心して運営出来る環境づくりを、行政に支援してもらいたい。
- 市から県や他の地区・学区等の開催状況を教えてもらえるとありがたい。
- 行政よりコロナ対応のあり方（集会等）を提案いただきたい。
- コロナ禍に自治会活動を実施していく上で、実施方法等を相談できる体制づくりをお願いしたい。

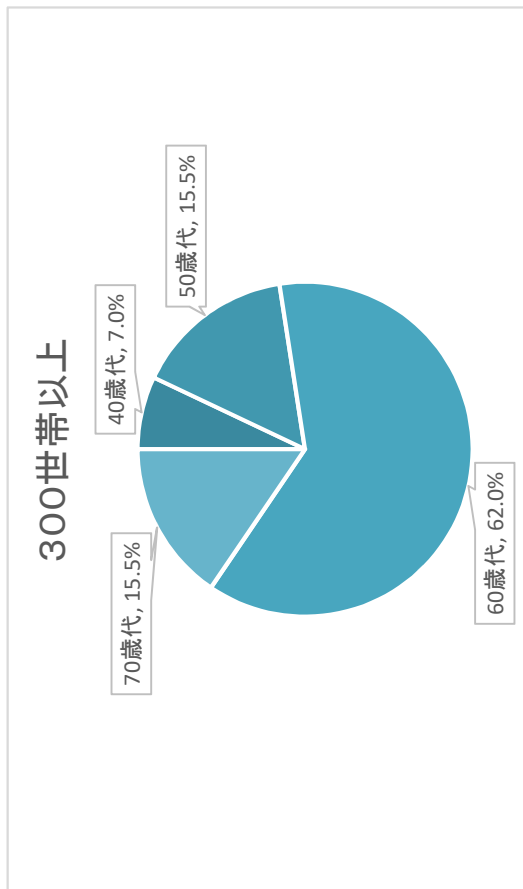
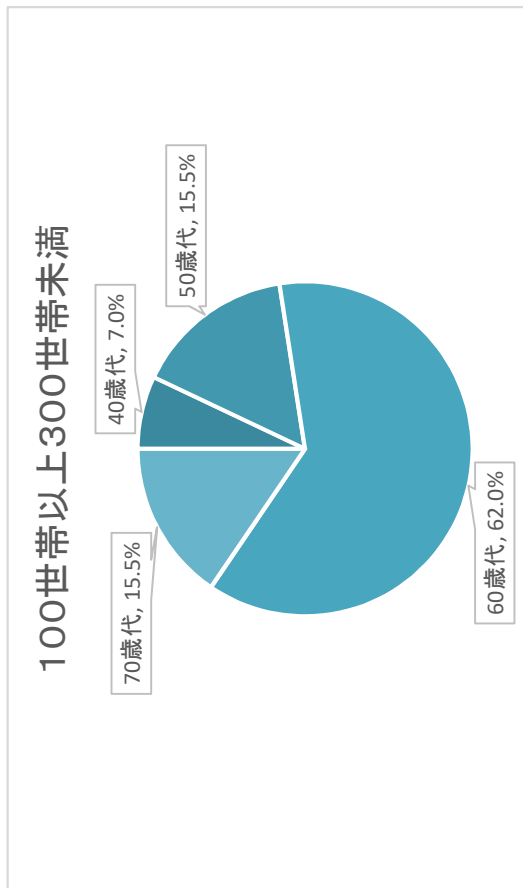
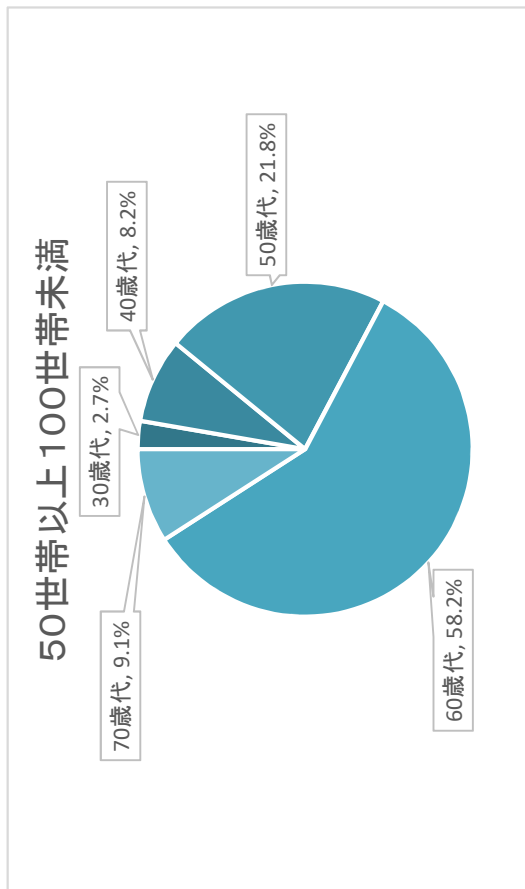
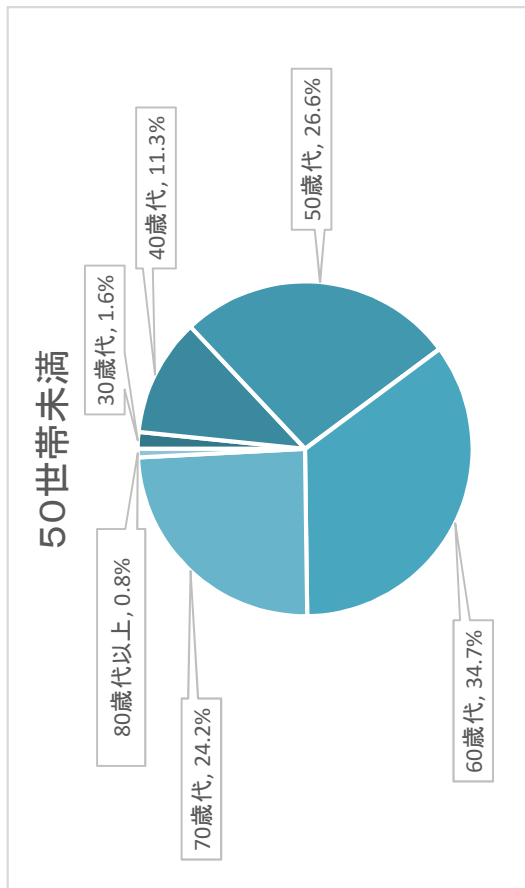
〈その他〉

- 屋外での集会ができる設備（場所・マイクや拡声器など）が必要。
- 判断力と決断力が必要。
- 自治会費徴収について、銀行振り込み等変更を検討。
- 役員の選挙方法など、他の自治会ではどのようにされているか聞いてみたい。
- 行事を実施するかどうかを近くの自治会で統一して決めるようにする。

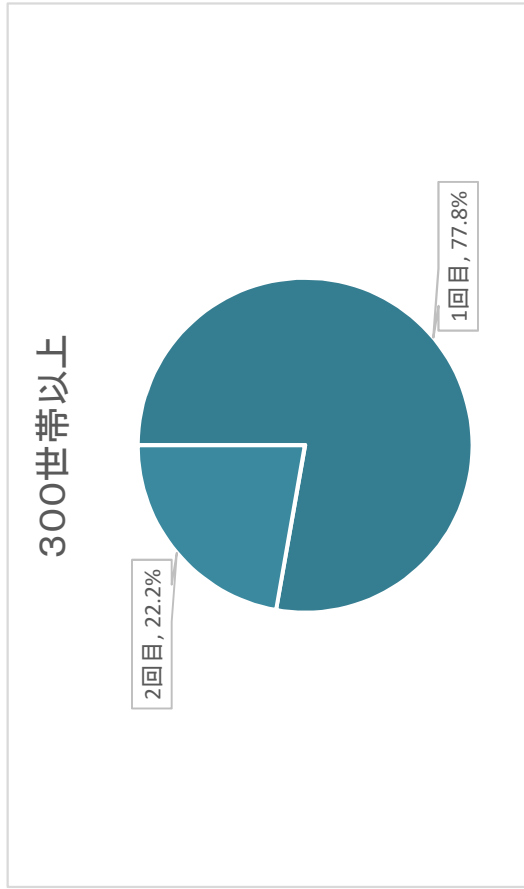
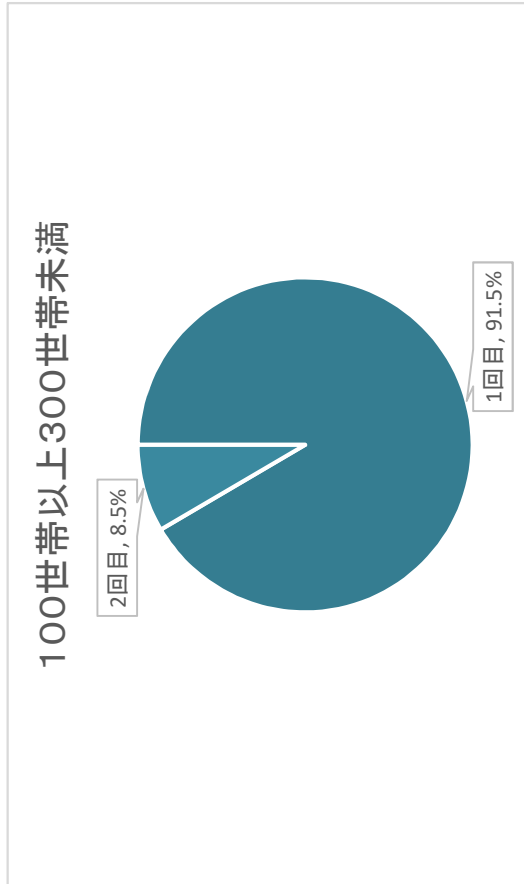
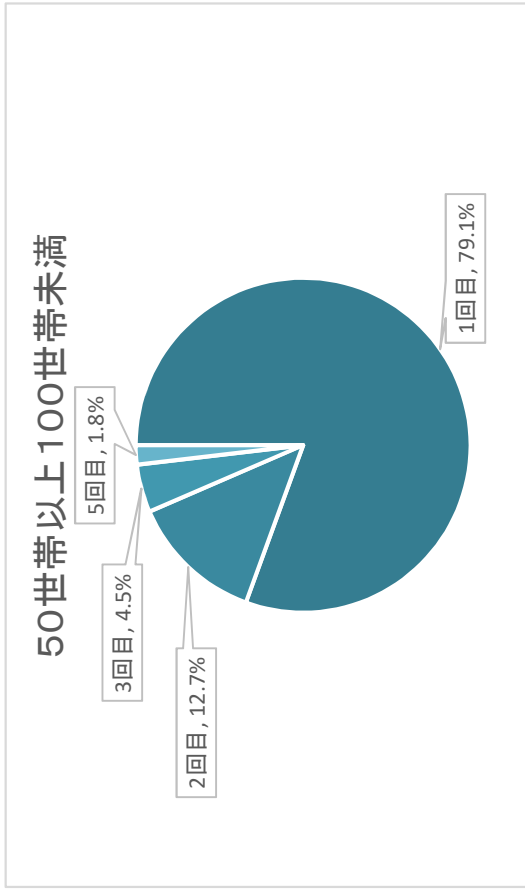
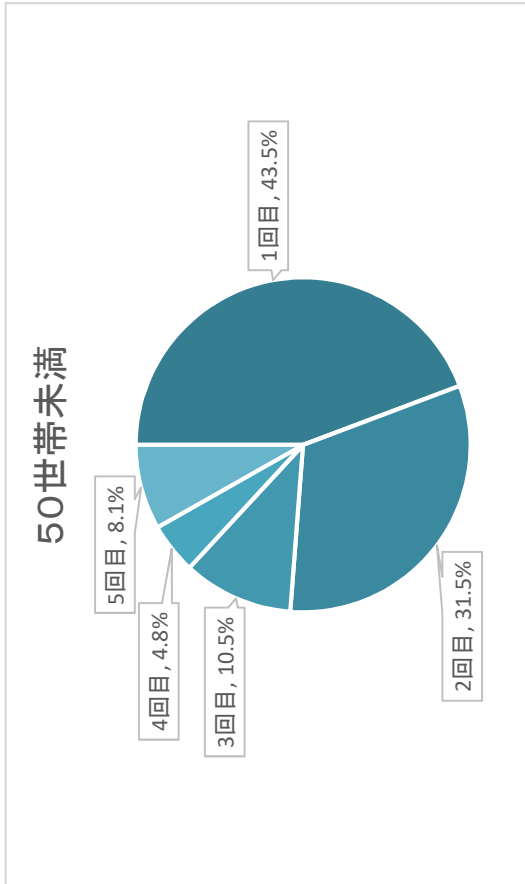
1世帯当たりの年間の自治会費



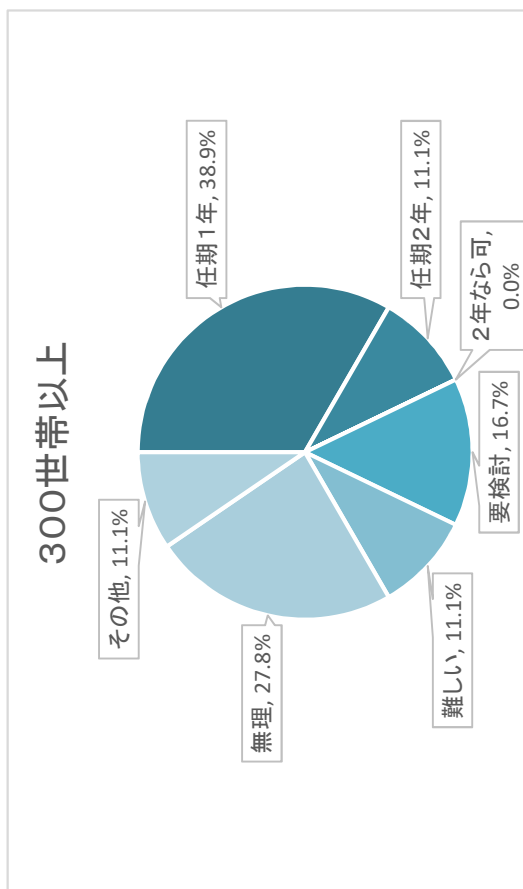
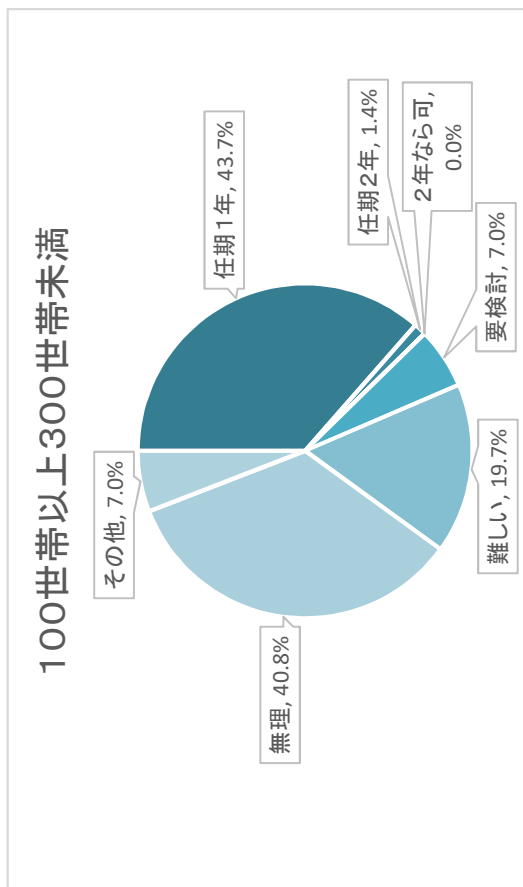
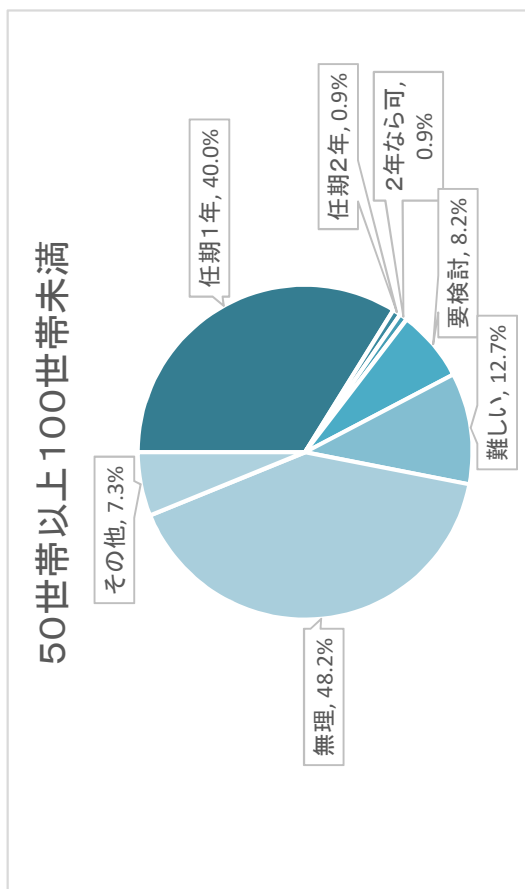
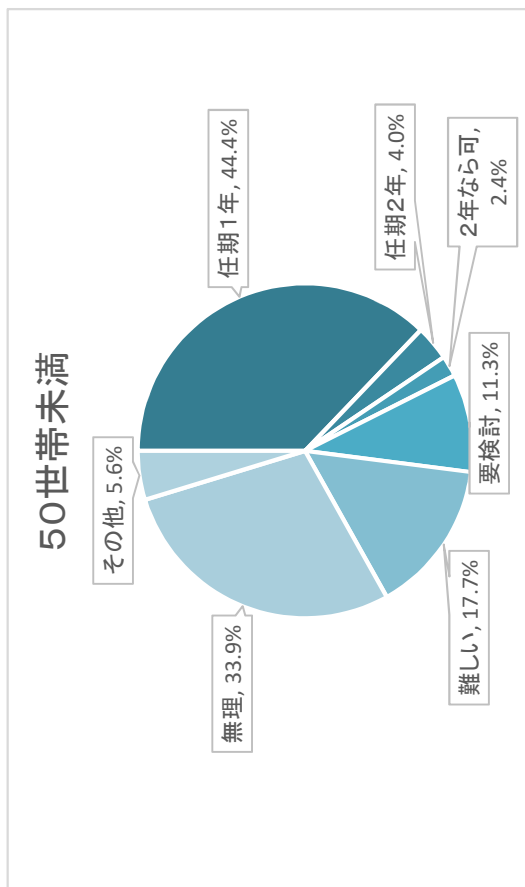
自治会長の年齢



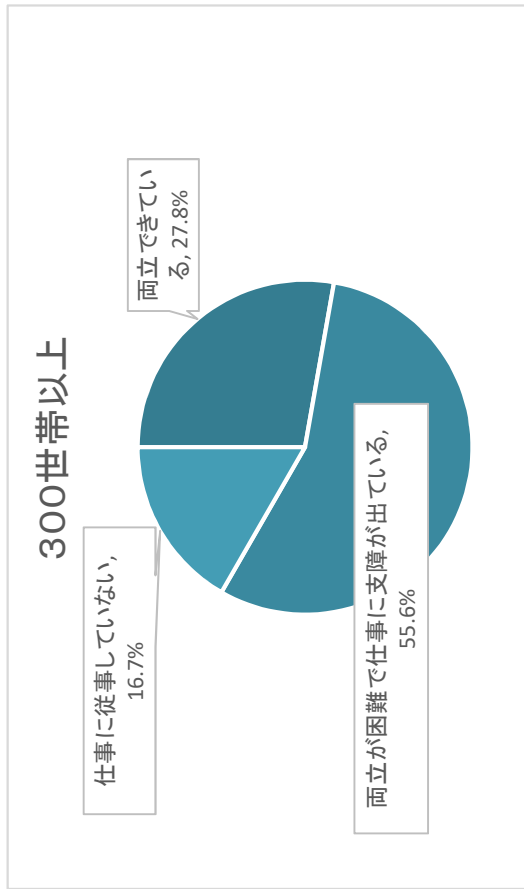
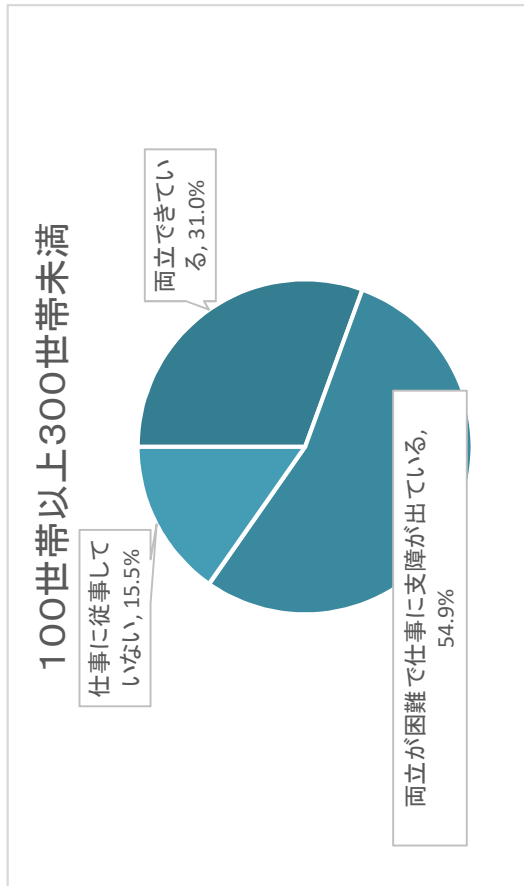
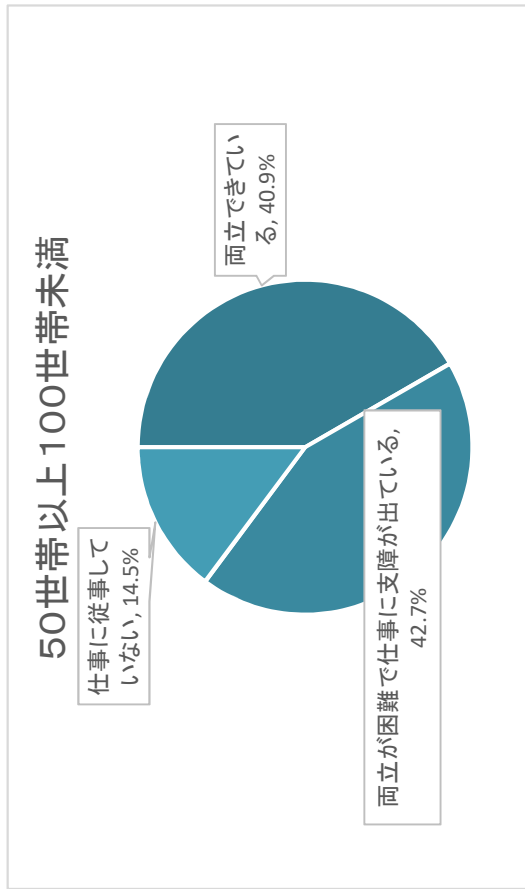
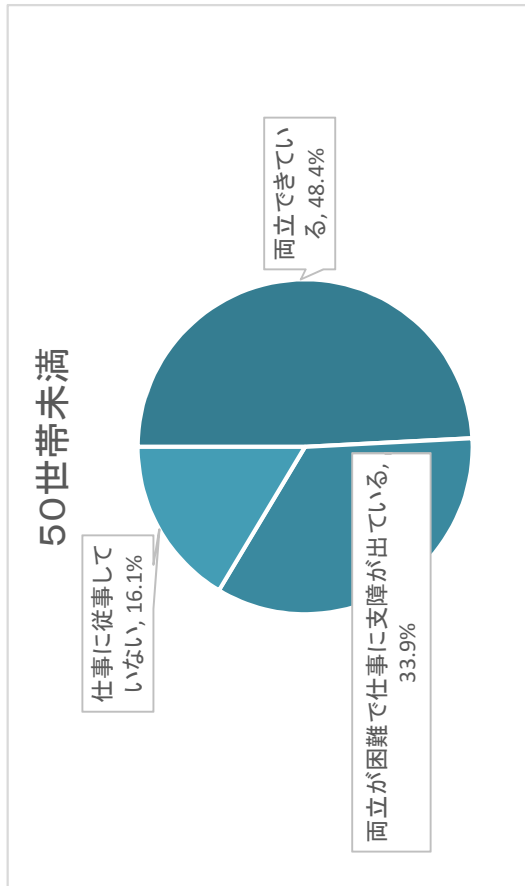
自治会長就任は何回目か



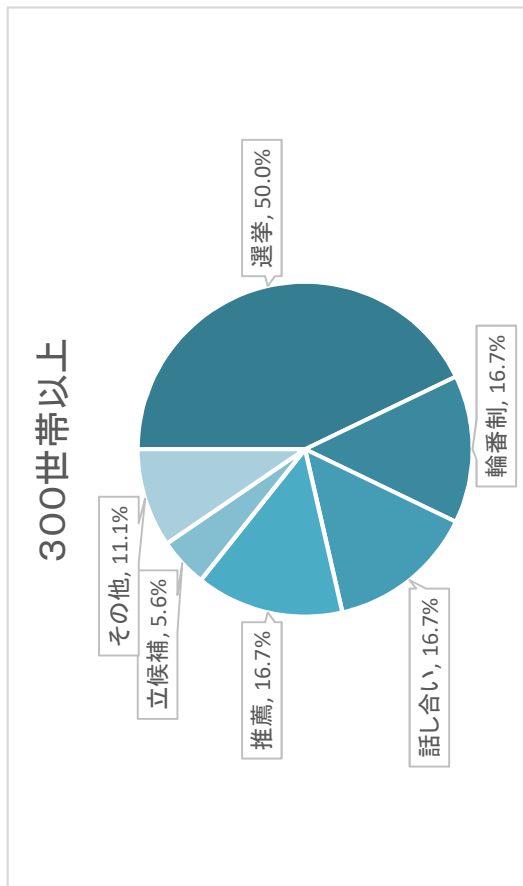
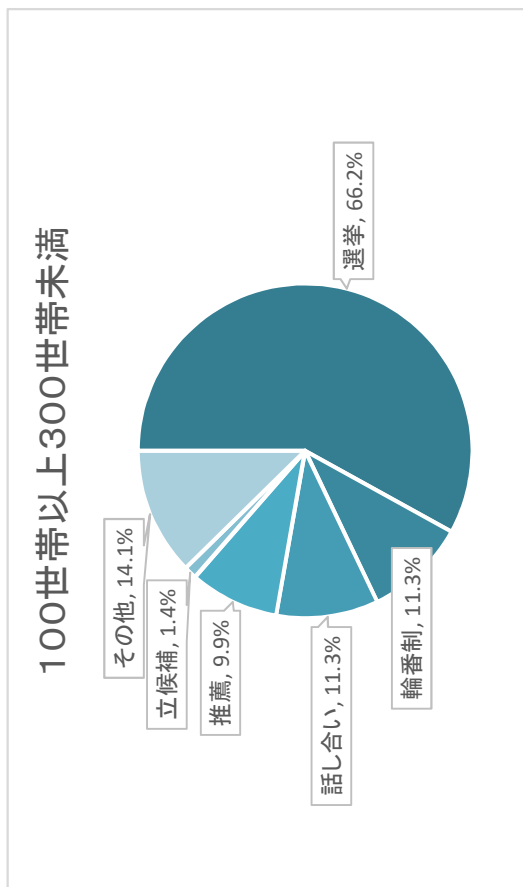
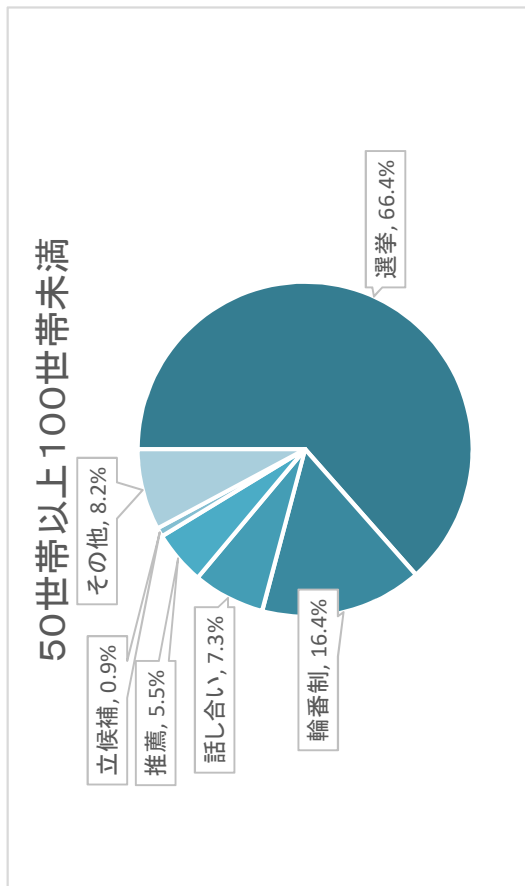
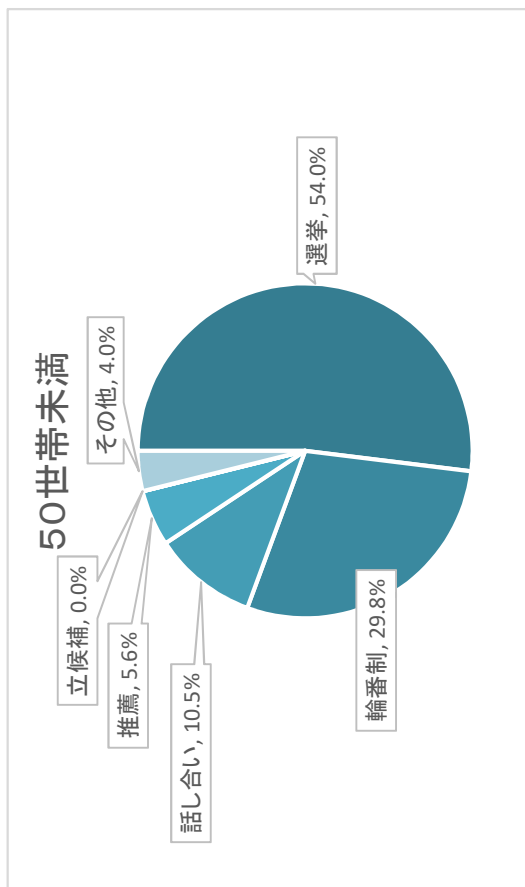
自治会長の複数年任期について



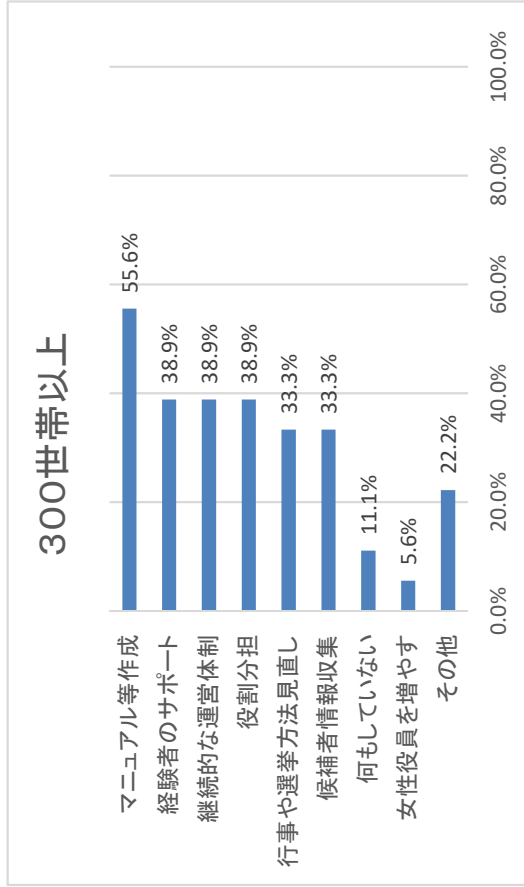
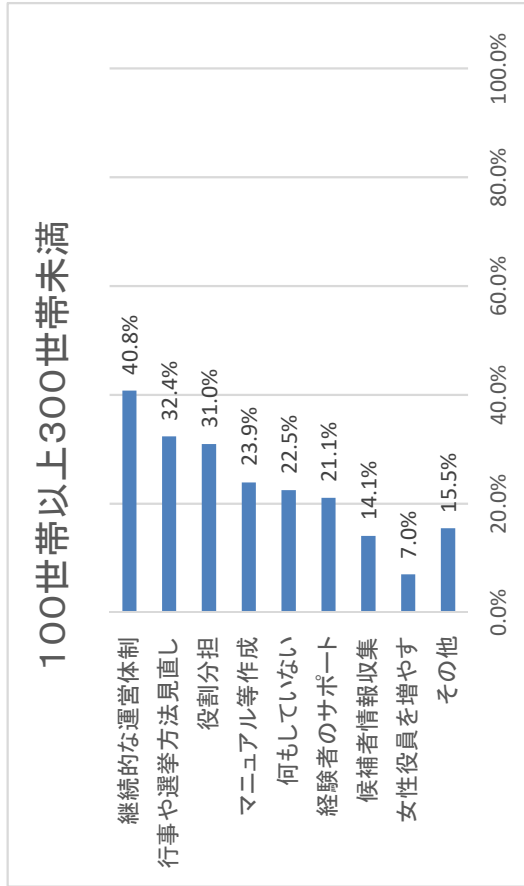
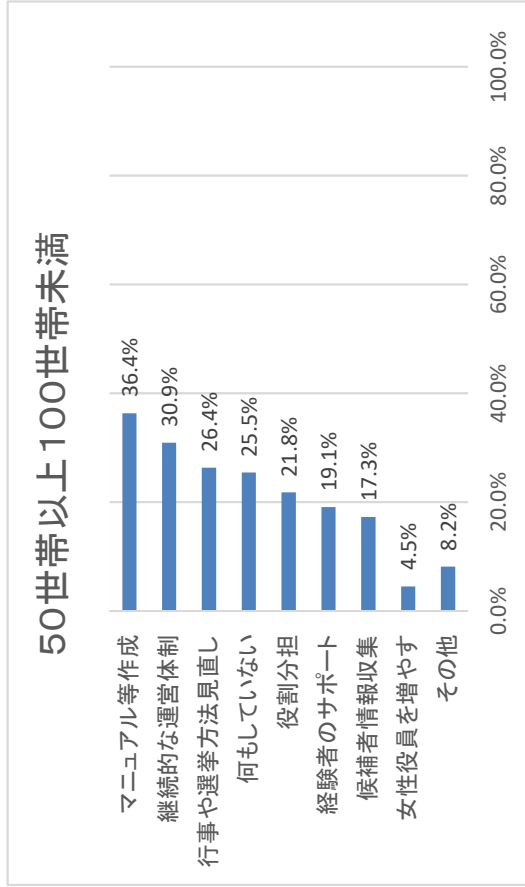
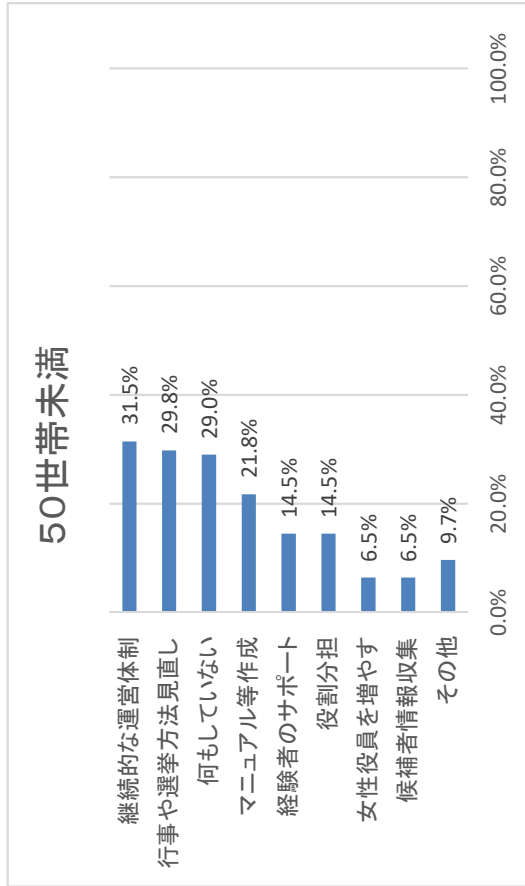
自治会長業務と仕事（本業）との両立



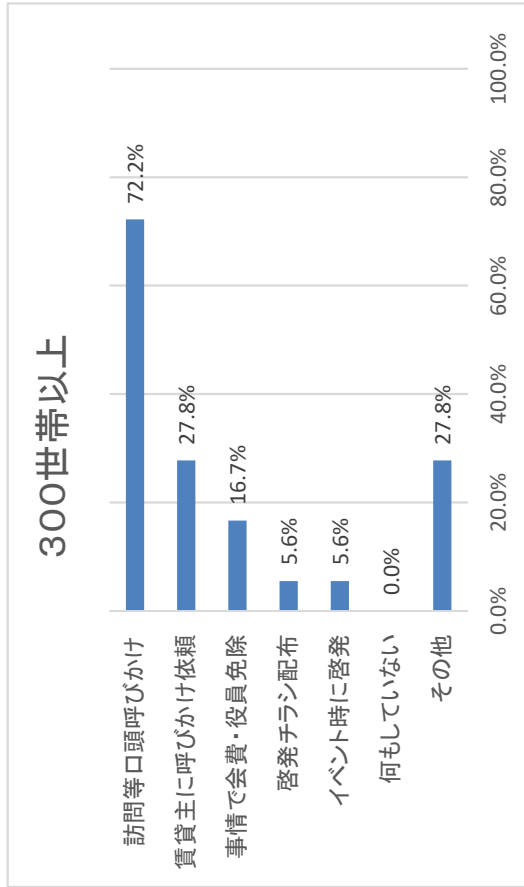
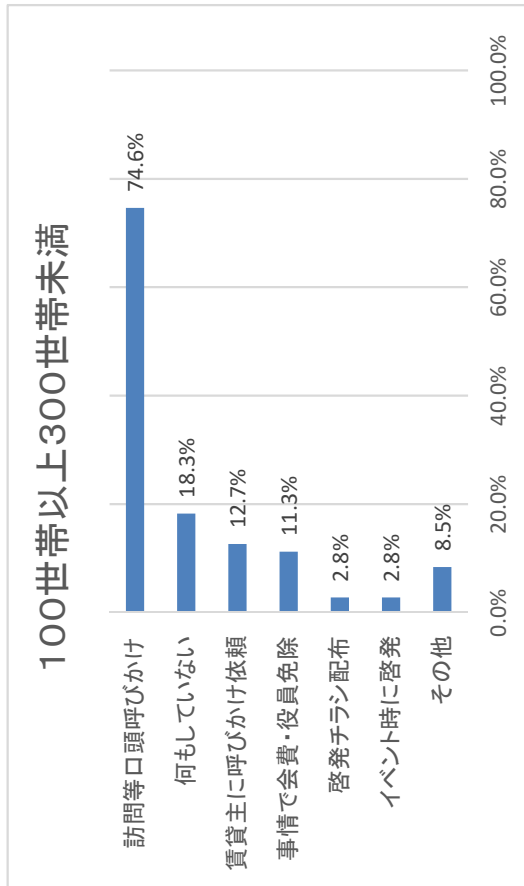
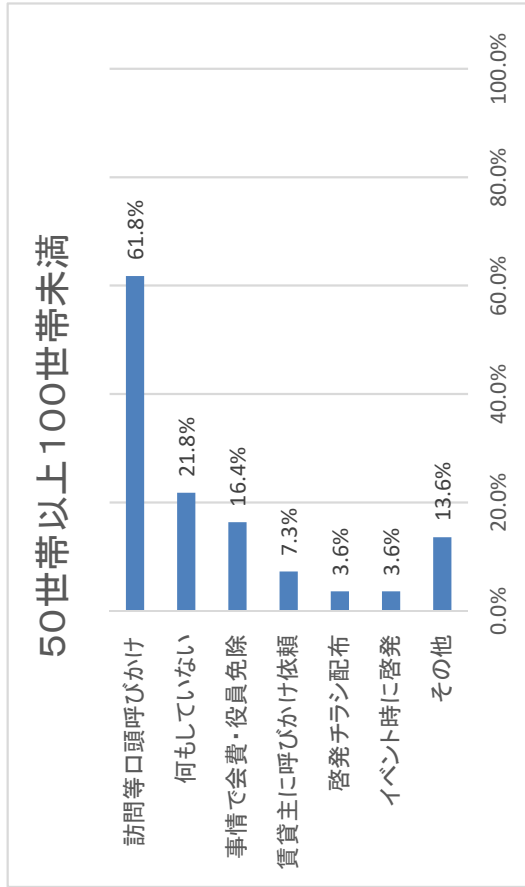
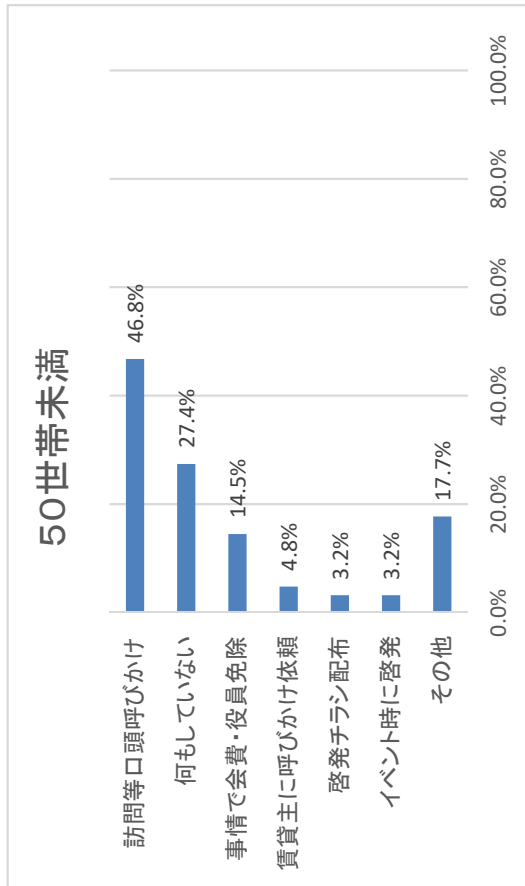
自治会長の選出方法



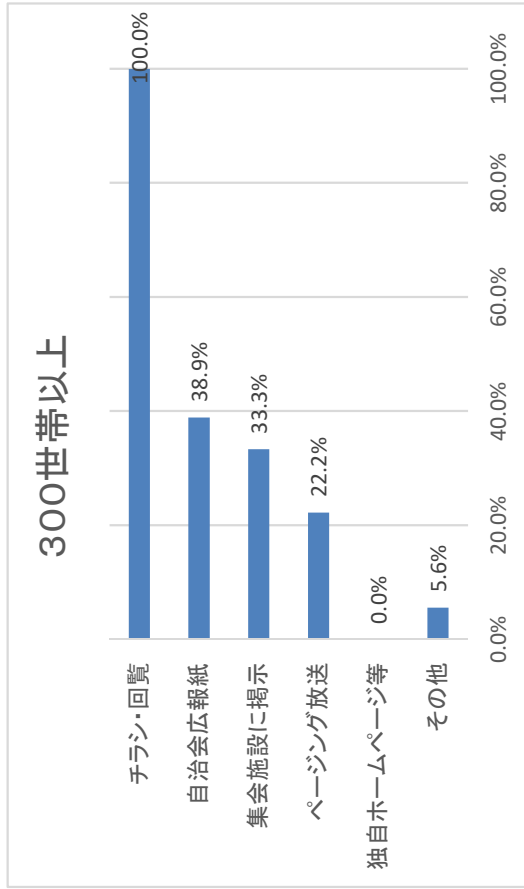
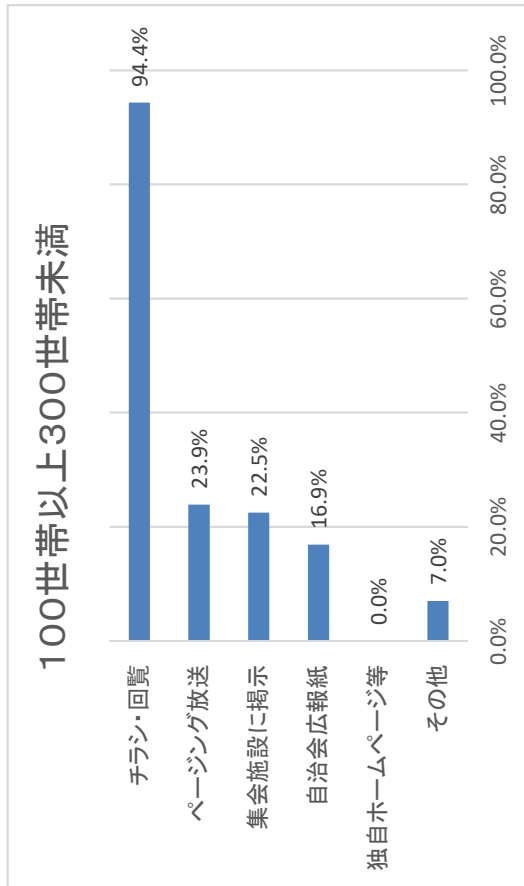
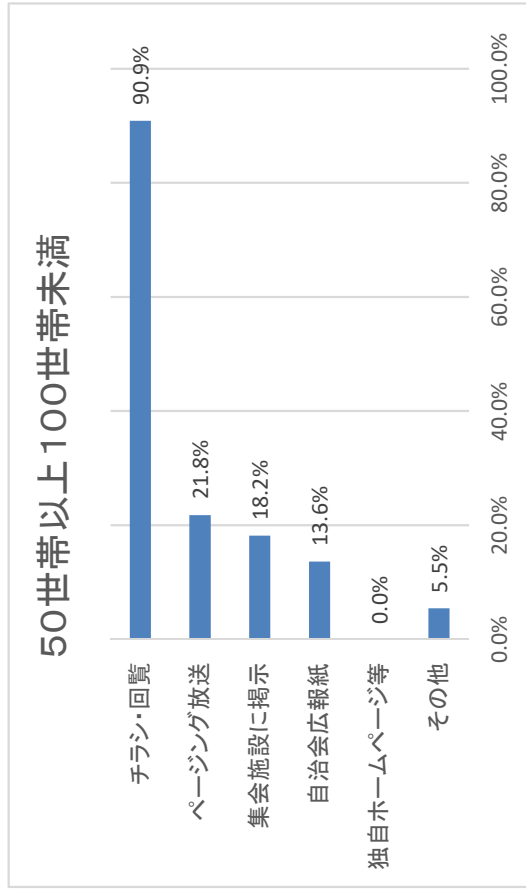
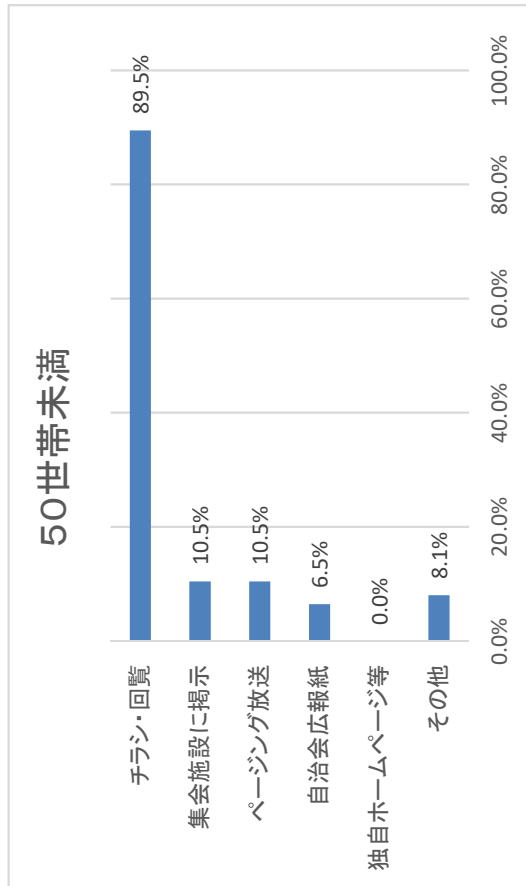
役員のなり手確保の取組



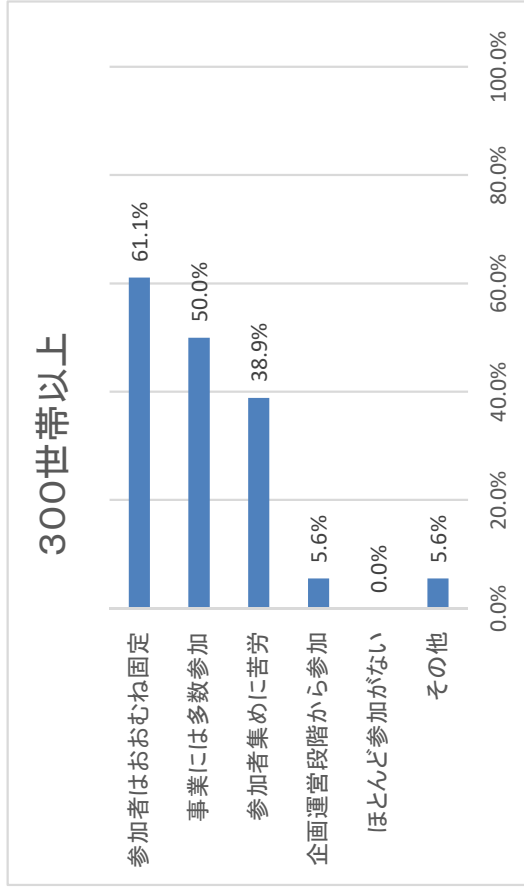
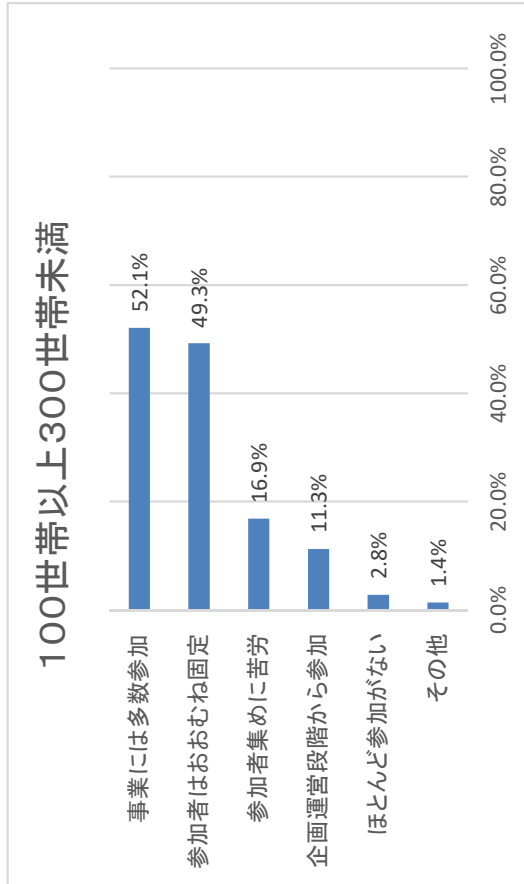
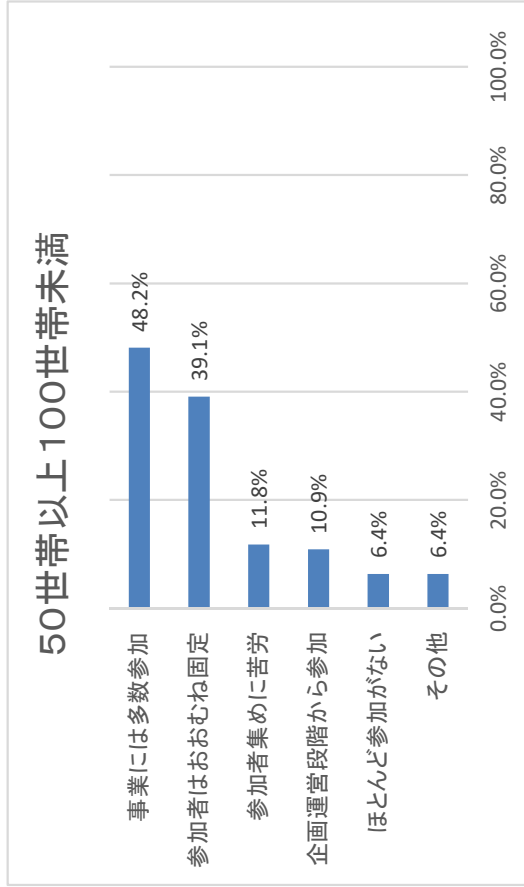
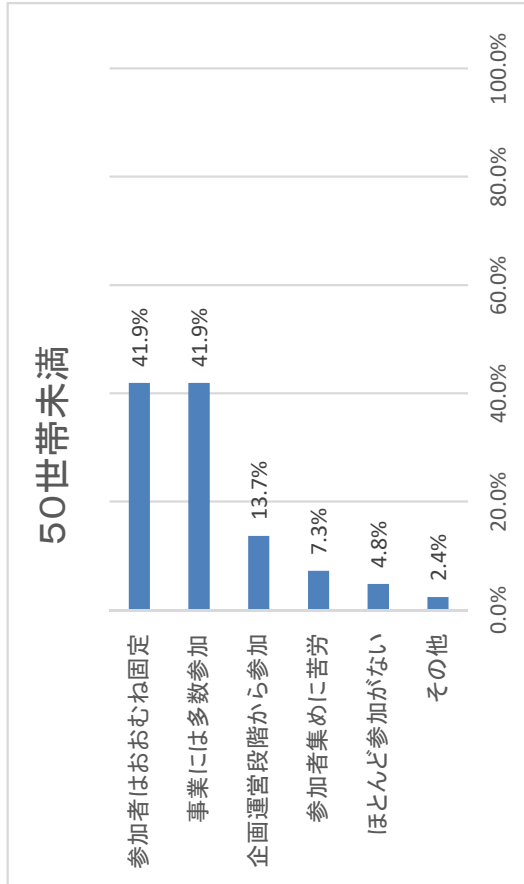
自治会加入推進の取組



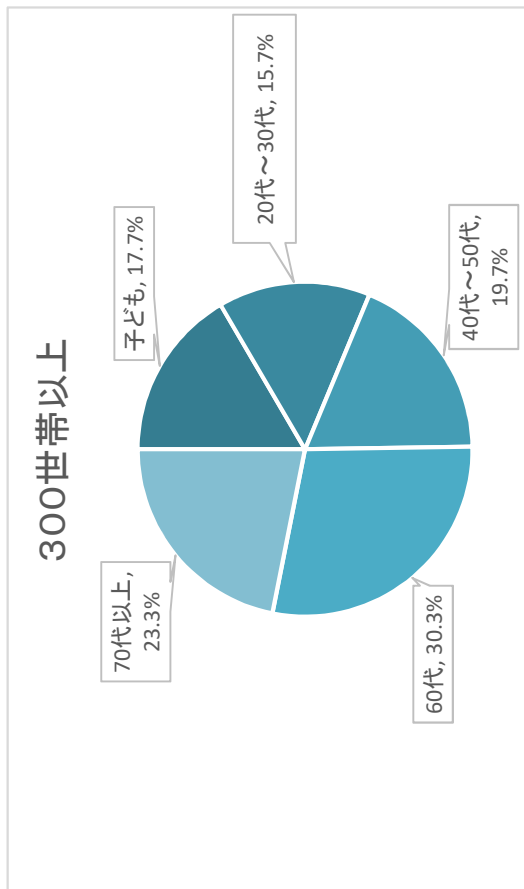
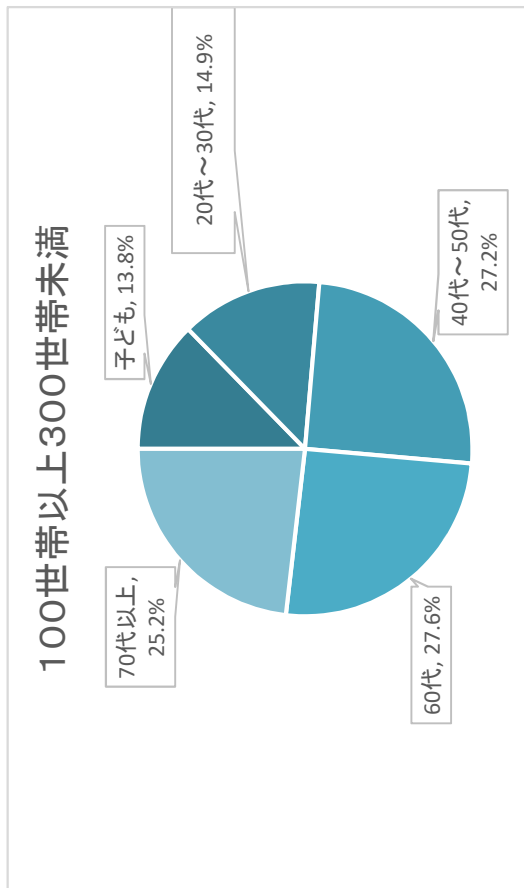
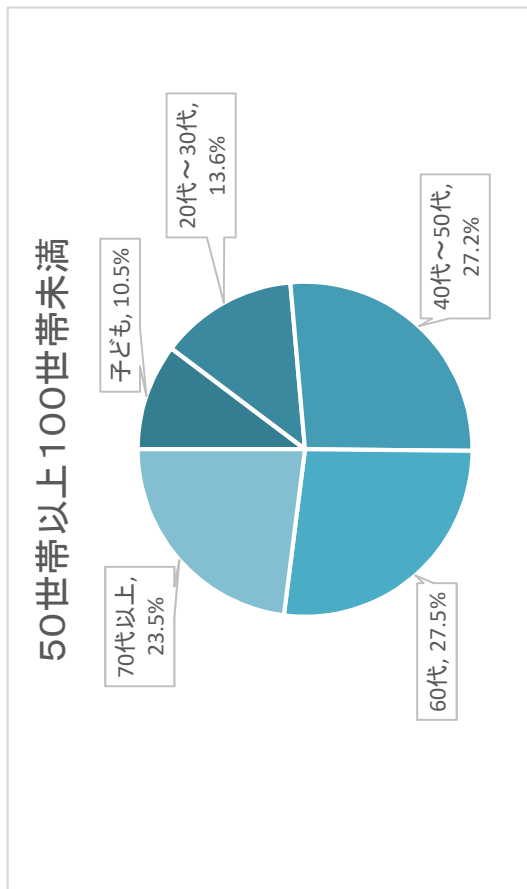
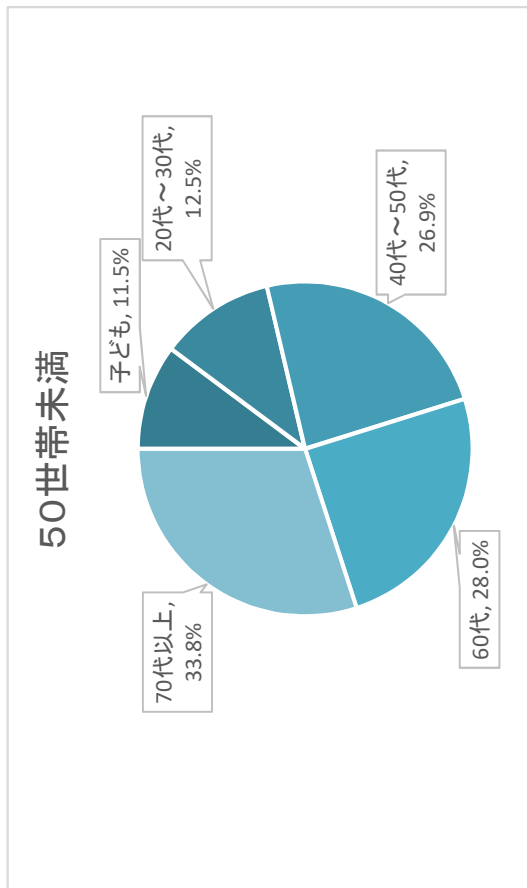
活動情報の伝え方



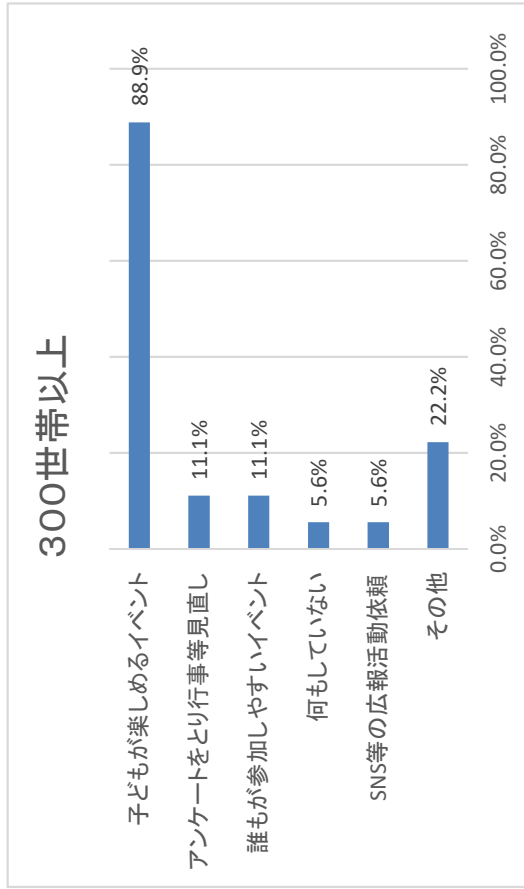
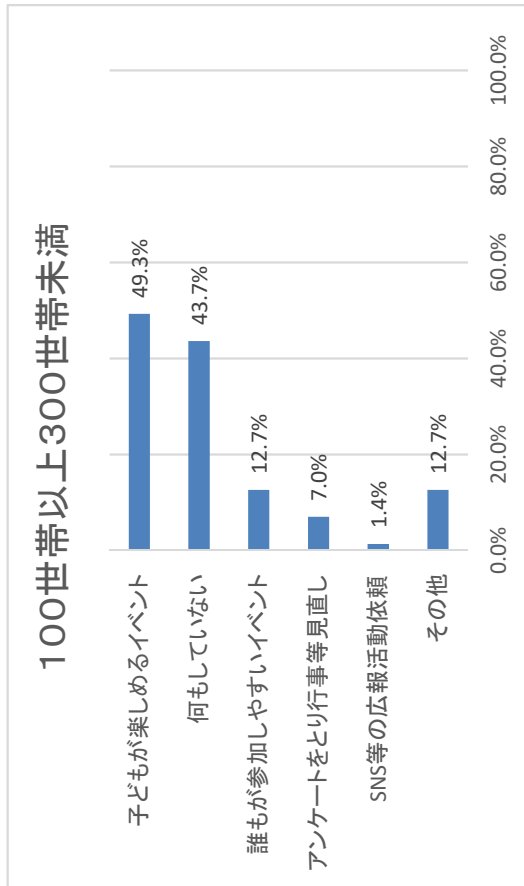
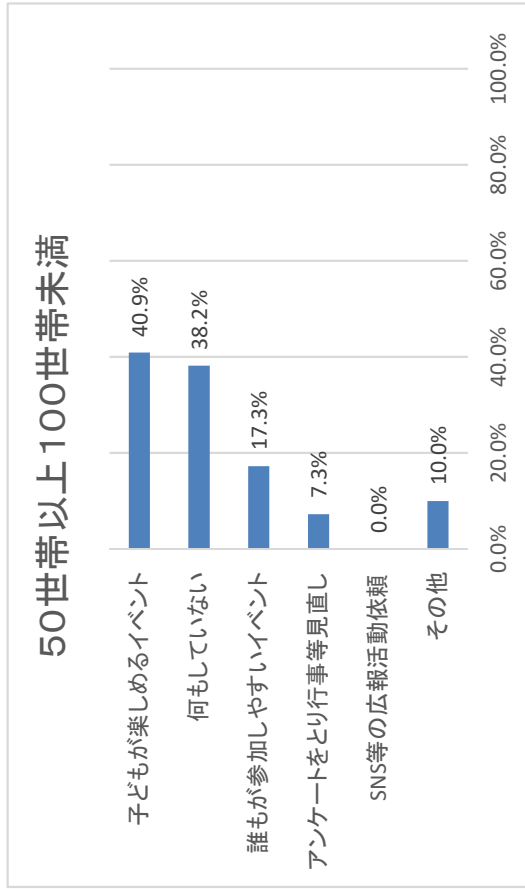
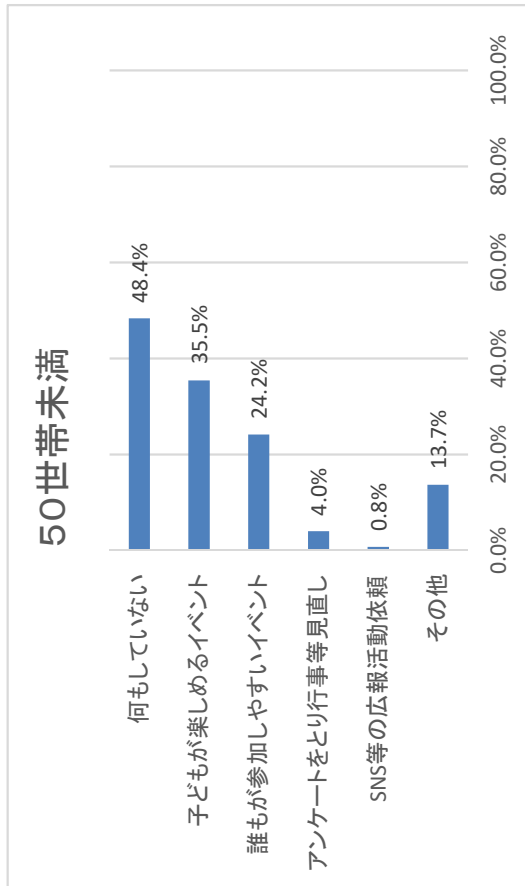
会員の参加状況



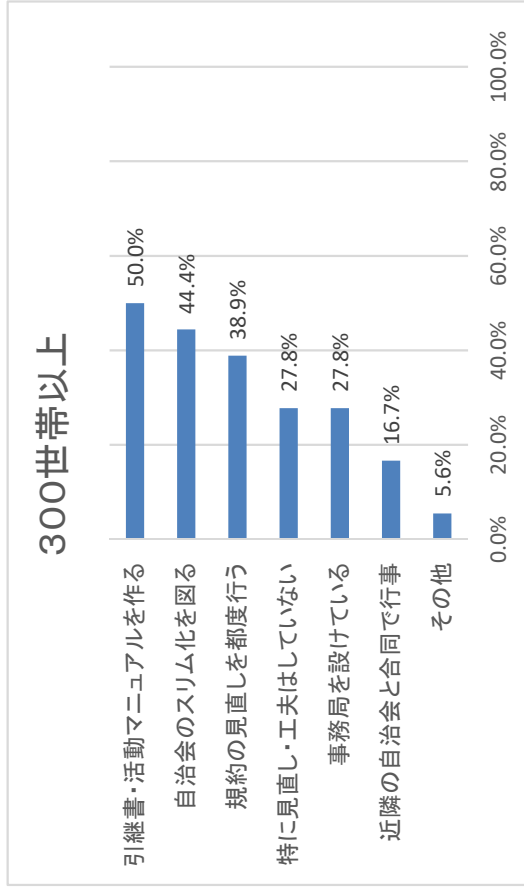
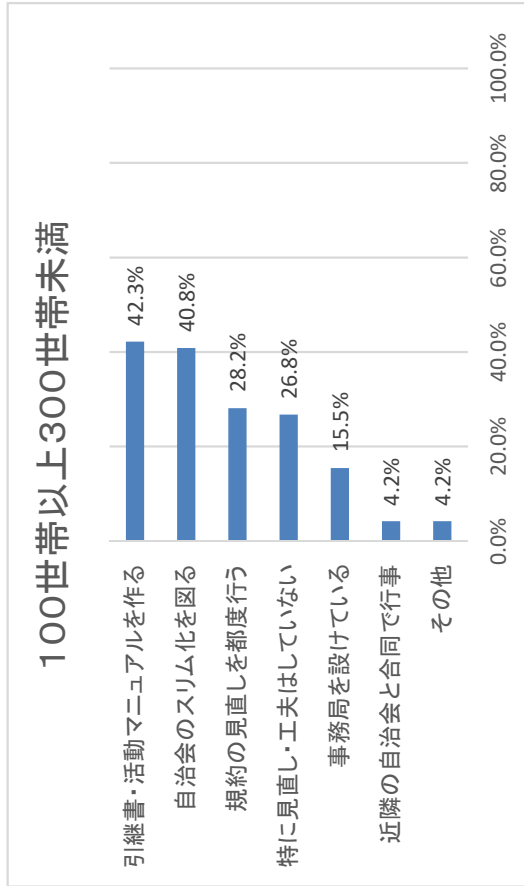
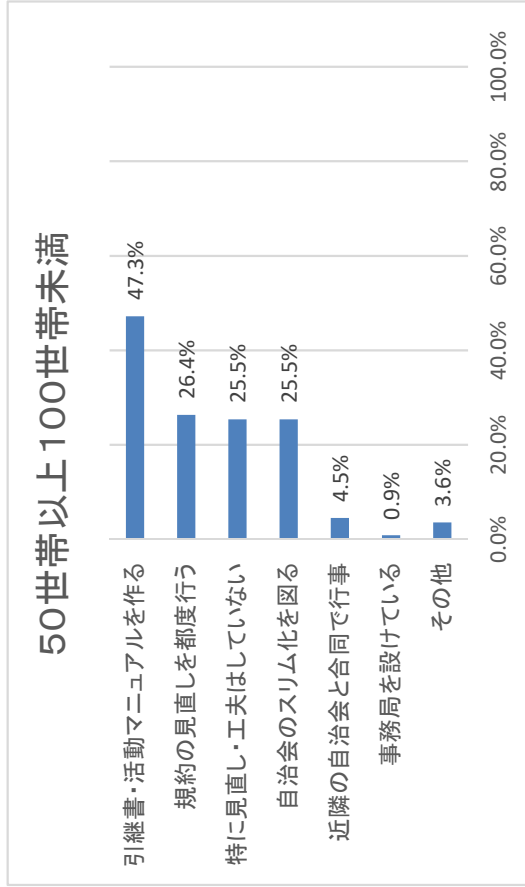
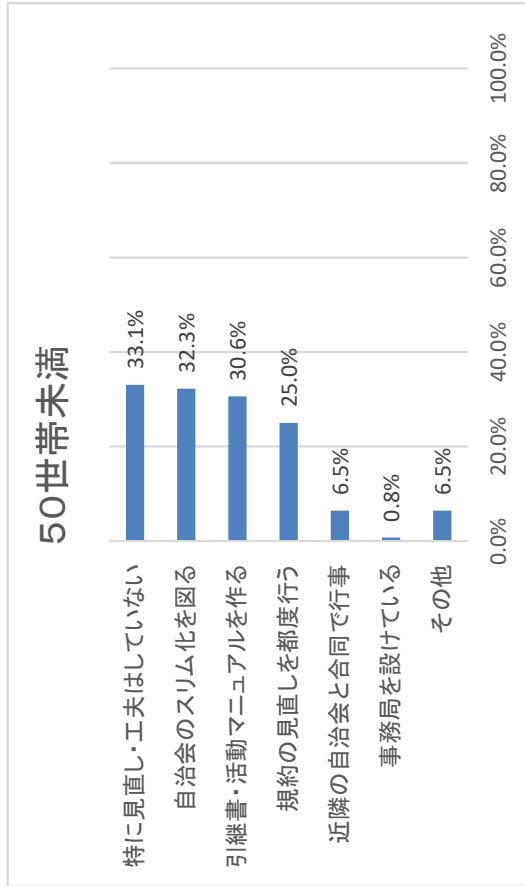
活動に関わる会員の年齢層割合



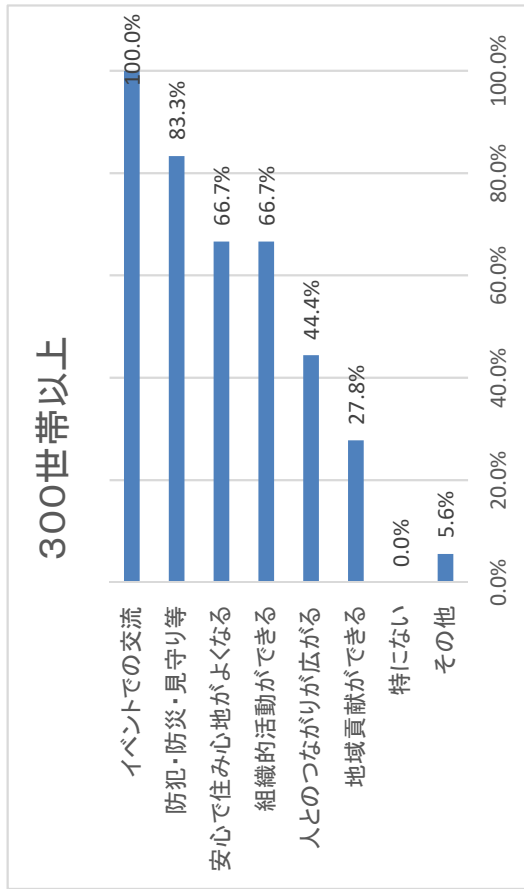
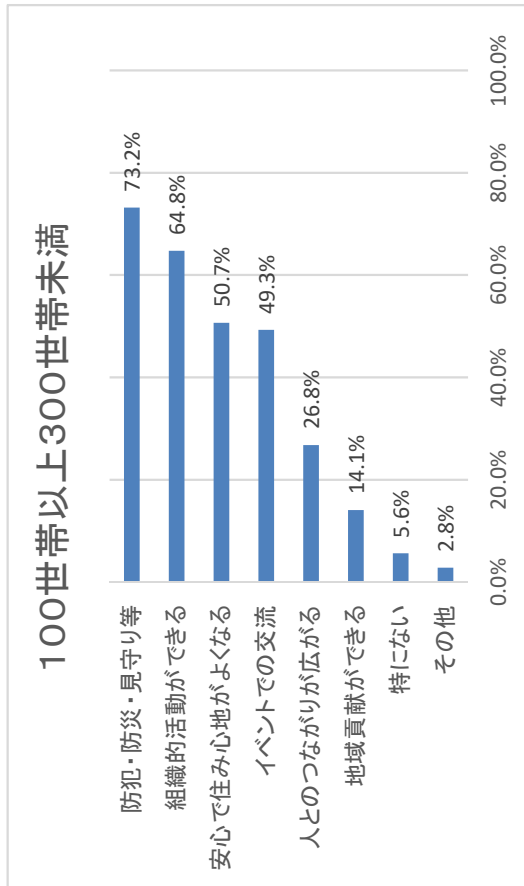
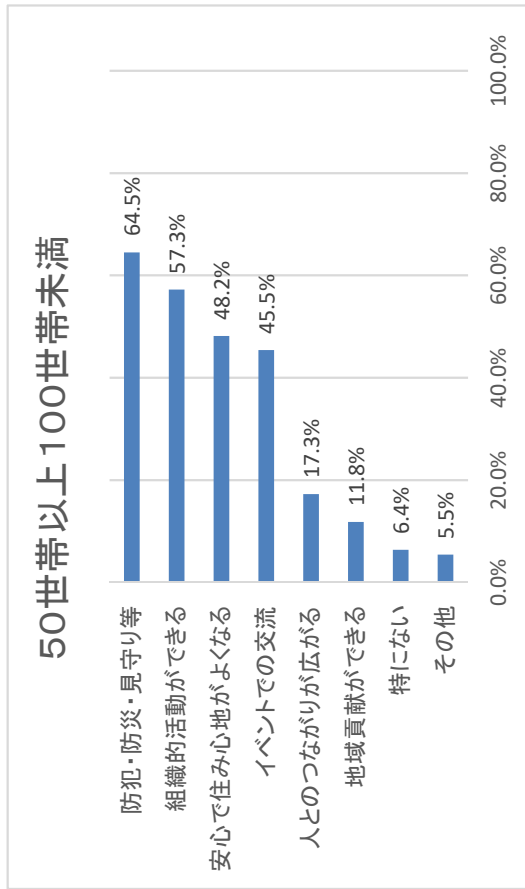
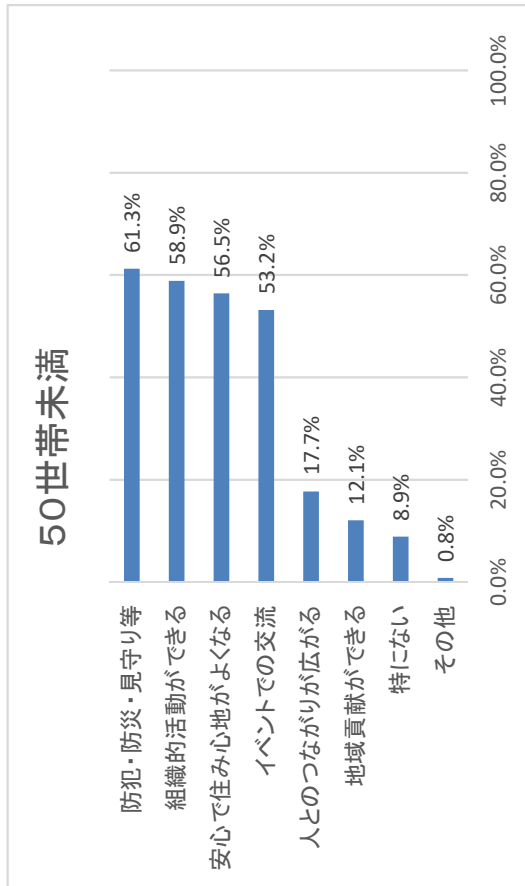
若い世代が自治会活動に関わるきっかけづくり



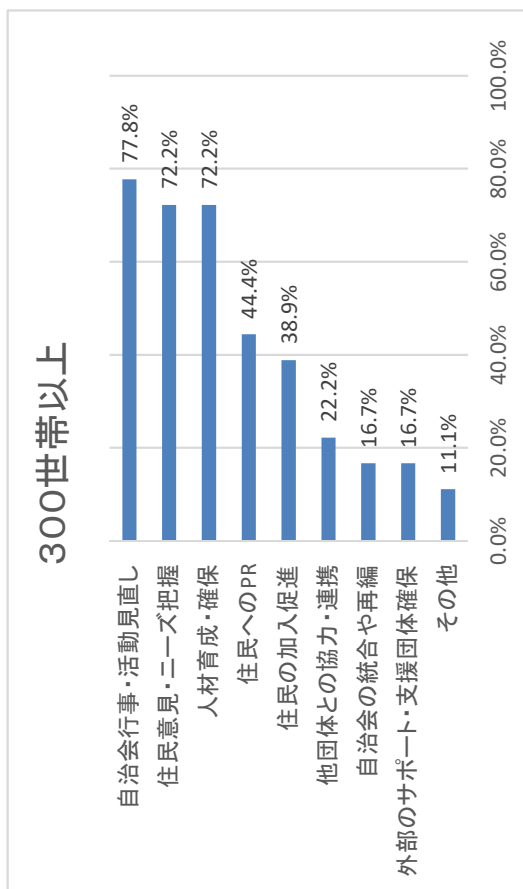
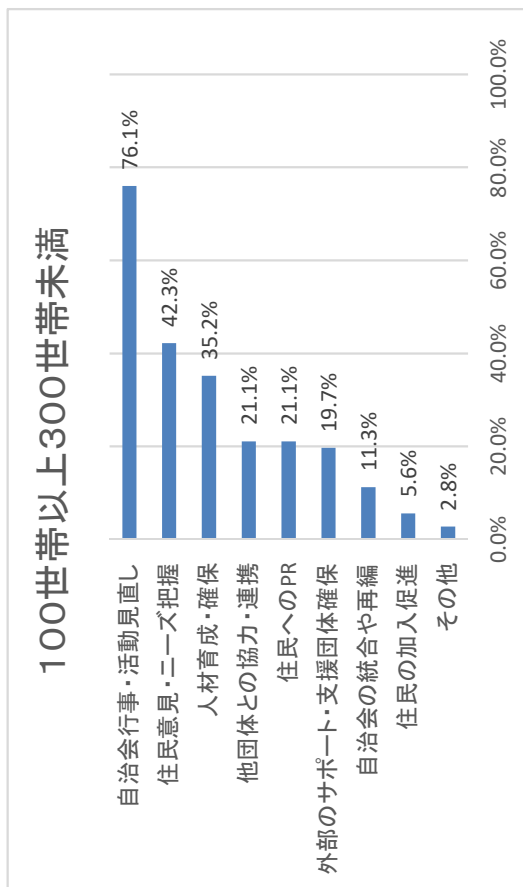
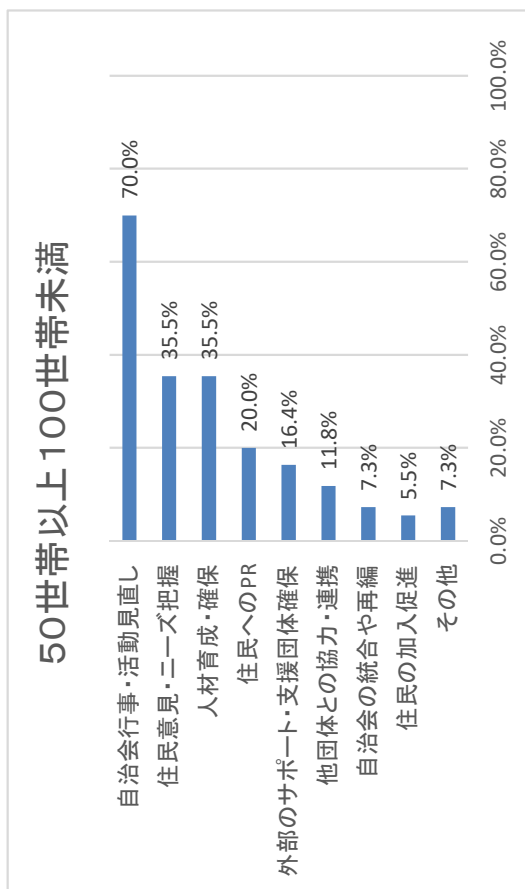
自治会活動の見直し・工夫



自治会の良さ、加入することのメリット



自治会の運営や活動を充実・継続させるために必要なこと



新型コロナウイルスの影響で、自治会運営において見えた運営上の課題

